

独立行政法人 国際協力機構

中国国際センター

平成18年度 活動レポート



平成19年

平成18年度 JICA中国活動レポート

目次

はじめに	1
第1部 各事業の活動報告	
1. 研修員受入事業.....	2
2. 青年招へい事業.....	4
3. 海外ボランティア事業.....	6
4. 草の根技術協力事業.....	8
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業.....	10
6. 大学との連携協力.....	13
第2部 図表と写真で見るJICA中国10年間の事業実績	
1. 研修員受入事業実績.....	15
2. 青年招へい事業実績.....	16
3. 海外ボランティア事業実績.....	17
4. 草の根技術協力事業実績.....	18
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業実績.....	19
第3部 実績・参考資料	
1. 平成18年度事業実績	24
2. 参考資料.....	58

表紙写真「アフリカからのJICA研修員による広島女学院高等学校訪問・交流」

はじめに

この冊子は、独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター（JICA中国）の平成18年度の事業概要をまとめたものです。また、JICA中国が業務を開始して以来、今年で10周年を迎えることができましたので、これを記念して、本冊子には10年間の事業実績も併せて掲載しています。

この10年間、JICA中国は、中国地方に位置する鳥取、島根、岡山、広島、山口の5県において、地方自治体や大学、団体等と連携して、開発途上国からの技術研修員を受け入れる研修員受入事業や、青年招へい事業（平成19年度から青年研修事業に改編）を展開してきました。また、市民参加協力事業としては、草の根技術協力事業や出前講座、教師海外研修、高校生国際協力体験プログラム等の開発教育支援事業などを実施し、海外ボランティア事業として青年海外協力隊やシニア海外ボランティアなどの派遣に力を入れてきました。さらに、国際協力に関する広報や啓発活動も行っていました。

広島県に位置するJICAの国内機関として、JICA中国は、広島の被爆体験や戦後の復興経験を踏まえ「平和構築・復興支援分野」における国際協力事業に力を入れています。広島大学等の連携協力に基づいた「初等・中等教育」もJICA中国が積極的に取り組んでいる分野です。これらの分野に関し、平成18年度にアフリカ向けの地域別研修コース「平和構築としてのガバナンス能力強化」を実施、教育分野ではアフリカを対象とした「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」コースなどの研修を行ってきました。このようにして受け入れた研修員は平成18年度で289名、この10年間では2,579名にも上りました。

開発途上国の若者を日本に招き、それぞれの国で必要とされる分野の研修を通じ、将来の国づくりを担う人材を育てることを目的とする青年招へい事業では、ベトナム、アフガニスタン、太平洋の国々などから合計9グループを受け入れ、帰国青年は日本と自国の橋渡し役としての活躍が期待されています。

草の根技術協力事業は前年度からの継続案件も含め、11件実施しました。国際協力出前講座は171件（参加者総数は14,964名）実施し、小・中学生をはじめ、高校生、大学生、そして広く市民の方々への国際理解の浸透や地域の国際化への貢献に努めてまいりました。教師海外研修や高校生国際協力体験プログラムも、参加したの方々から好評をいただいております。

海外ボランティア事業に関しては、平成18年度、中国地方5県から89名のボランティアを開発途上国に派遣しました。その数も、この10年間では約900名となり、市民の国際協力参加への熱い思いを感じずにはられません。

このようにJICA中国の事業は、中国地方の自治体、NGOや大学等のさまざまな団体に支えられながら、そして市民の方々の温かいご理解、ご支援ならびにご参加があって成り立っています。

平成20年10月に、JICAは政府開発援助（ODA）の一元的な実施機関として新しく生まれ変わることが予定されています。今後とも、JICA中国は、中国地方の特徴を活かした国際協力事業の実施にさらに取り組んでまいりたいと思います。JICA中国のこれからの活動に一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成19年6月

独立行政法人 国際協力機構

中国国際センター

所長 生井年緒

第1部 各事業の活動報告

1. 研修員受入事業

JICA中国は、開発途上国のそれぞれの専門分野で実務に携わっている行政官、技術者、研究者などを受入れて、研修の機会を提供しています。

平成18年度は、アフリカ向け平和構築分野の地域別研修コースとして、サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」を実施しました。このように、平和都市「HIROSHIMA」を生かした研修を積極的に行っています。また、インドネシアとカンボジアを対象にした地方行政支援の2コースを新たに立ち上げるなど、地元自治体のリソースを生かした研修にも取り組んでいます。



サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」コースで復興開発の計画策定について話し合う研修員

4月

平成17年度「沿岸漁業の統合的な管理手法」コース継続実施

5月

「廃棄物管理総合技術」、「ガスタービン・蒸気タービン（石炭）火力発電」、「養殖魚の健康と安全管理」、南東欧地域「サポーターイングインダストリー育成」コース開始

6月

仏語圏アフリカ「教育行政」、ボスニア・ヘルツェゴビナ「平和のための教育ネットワーク構築」コース開始

7月

「乾燥地水資源の開発と環境評価」、中東地域「上水道維持管理」コース開始

8月

「中等科学教育実技」、中南米地域「生活排水処理計画」コース開始

9月

「地域観光開発と持続可能な観光振興」コース開始

10月

南西アジア地域「公害防止行政」、カンボジア「地方行政」、イラク「火力発電」、南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」コース開始
研修員、東広島市の「酒まつり」に参加

11月

「社会的環境管理能力の形成と政策評価」、フィリピン「女性起業家育成支援」コース開始

12月

中南米地域「治安対策強化セミナー」コース開始

1月

「食品加工・保全技術」、南部アフリカ地域「中小企業育成」、インドネシア「地方自治行政」、サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」コース開始

2月

アフリカ「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」、ケニア「INSET運営管理」コース開始

3月

インドネシア「国際収支・国際経済マネジメント能力強化」、「沿岸漁業の統合的な管理手法」コース開始

地域別研修アフリカ「研究と対話による 自立的な基礎教育開発の促進」コース

JICA中国では、アフリカの教育行政官と教育分野を研究している高等教育機関の研究者を各国からグループで受け入れており、今回で3年目となります。今年は、ブルキナファソ、マダガスカル、ナイジェリア、ザンビアから計12名が参加しました。

この研修コースでは、平成19年2月12日から2月17日まで、タイのチェンマイ大学で基礎教育分野の研究事例を学んだ後、2月18日から3月16日まで約1ヶ月間、広島と東京で研修を実施しました。この研修では、アジアや日本での基礎教育分野の開発経験を共有し、参加しているアフリカの研修員が、国ごとに、自分の国の基礎教育の課題をどのように解決するのか、という調査研究の計画案を作成することを目的としています。具体的には、大学などの高等教育機関が果たすべき役割、日本の教育経験に関する講義、視察、また広島近郊の小学校や中学校への視察を通して、日本の教育開発の取り組みについて幅広く学びました。研修期間中には、アジアとアフリカの大学間の対話、情報共有を目的としたセミナーを3日間実施し、各国の基礎教育分野の課題、取り組みを共有し、活発な意見交換をしました。

研修の最後には、帰国後に調査研究に取り掛かることができるよう、広島大学や国連大学の先生方からのアドバイスを基に、各国研修員が調査研究のテーマと計画を発表しました。

JICAでは、日本に滞在している期間に日本での取り組みについて理解をしてもらうことにとどまらず、帰国後にその成果が広く共有され、活かされるように、帰国後の活動についても支援しています。また、日本の経験や知識を伝えるだけでなく、アジアやアフリカの国の経験を共有し、相互に学びあえるよう関係者のネットワーク構築や、そのネットワークを活用した情報や経験の共有を目指しています。



タイ・チェンマイ大学の前で



熊野中学校で熱心に説明を聞く研修員



研修修了証書を無事手にした研修員

2. 青年招へい事業

開発途上国の将来を担う青年たちを招き、日本の技術を伝え、日本との友情が築かれることを目的としています。青年たちは日本での1ヶ月の滞在の間、自分たちが自国で従事していること（例えば教育、保健医療、環境保全など）について、講義・視察などを通じて学びます。青年招へい事業は、青年たちを受け入れる地域の皆さまによって行われています。日程のうちの「地方プログラム」と呼ばれる約一週間は、日本の文化に触れる、日本を理解するという意味では、一番内容の濃い期間となっています。



折り鶴をささげるパキスタンの青年教員

4月



5月

6月

太平洋混成・経済（中小企業振興）：
世界青年徳山友の会

カンボジア・行政（地方行政）：
国際ネットワークしまね

7月

インドネシア・教育（初中等）：
とっとり青友会

ベトナム・教育（教育行政）：
津山と世界を結ぶ会

8月



9月

10月

11月

タイ・情報技術（IT）：
しょうばら国際交流協会

アフガニスタン・行政（地域開発）：
島根県地域国際交流協会連合会

12月

インド・地域振興（青少年活動）：
財団法人防長青年館

1月

パキスタン・教育（教員養成2）：
社団法人青年海外協力協会中国支部

2月

中央アジア・経済（中小企業振興）：
学校法人広島YMCA学園

3月



国名・分野：地方プログラム受入団体

JICAとともに

世界青年徳山友の会 会長 茅原 正春

「世界の国からコンニチハ！」 - この言葉が私たち、世界青年徳山友の会の「テーマとメッセージ」。発足から20年、わずか50名の会員とともに、14年前にJICAという組織も分からないまま始めた青年招へい事業の初めての受入は、1994年太平洋混成公務員グループ24名、キリバスをはじめソロモンなど12ヶ国の南太平洋の皆さまでした。

当時、徳山駅に出迎えたホストファミリーや友の会会員、関係者らは南太平洋からの外国人の受入は初めて、ましてや目の当たりにするのは初めて。テレビや本などで見たことはあっても、出会うのは初めてでした。大歓迎と感動の渦。このとき私は、陰ながら思いました。「徳山に、このグループに来てもらって良かった。」それまでは、交流主体の先進国の受入ばかり。今回は違う。発展途上の国「南太平洋諸国」12ヶ国の皆さまの研修と交流のための受入。

この感動とともに9月13日から21日までの8泊9日間の研修と交流は、「アッと言う間の出来事」でした。これを機会に、今までの受入と一味違う感触を得たホストファミリー、会員関係者は、その後、受入が終了と同時に必ず、「次はどここの国と?...」「次はどここの国が来るといいですかねー。」と、毎度の会話となる。このような繰返してパキスタン・中国・アフリカ・モンゴル・再度太平洋混成・インド・フィリピン・3度目の太平洋混成・2度目のフィリピン・3度目のフィリピン・アセアン混成・4度目の太平洋混成、「みんな違って、みんな良かった。」どこかで聞いたような言葉ですが、私達にとっては、ほんとに素晴らしい青年たちとの出会いと思いを残してくれました。

この14年間、いろんな国、いろんな人々と出会いがありました。そして農業関係・インフラ・経済・教員・環境・福祉・地域振興など、一生懸命に日本の技術を習得しようと頑張る青年たちの姿は、私たちに感動と喜びを与え、お互いに素晴らしい財産を残してくれました。この素晴らしい事業、JICA青年招へい事業でした。

また、14年間の実績としてJICA理事長表彰を頂き、会員や関係者の励みとなりました。国際交流や国際協力に一層力が入り、青年招へい事業で得た経験を基に国際貢献分野に於いても、研修を受け持つことにより豊富な知識を習得することができ、自信を深めることができました。

私たちは、「次のステップに向けて頑張ろう！」そう言う気持ちで一杯です。また明日に向けて、JICA事業を中心とした地方での国際協力・国際貢献そして国際交流を会員関係者で盛上げていきます。



理事長表彰受賞記念式典での協力隊OBの体験談



ぶどう狩りを楽しむ招へい青年

3. 海外ボランティア事業

JICA中国では、開発途上国の住民と一体となつて行う協力活動を志望する個人を募集し、海外に派遣しています。海外ボランティアは大きく分けて、青年（20～39歳）を対象としたものとシニア（40～69歳）を対象としたものがあります。青年海外協力隊事業は、事業を開始して40年を超えました。JICA中国は、毎年2回の募集期に合わせて実施する一般募集説明会の他、帰国隊員の報告会の実施、大学や各種セミナー・イベント等でボランティア事業の紹介を行うなど、ボランティア事業の理解促進のための様々な活動を行っています。



ケニアで原爆展を開催した隊員達
（現地の子供達とオリヅルを折りました）

4月

4/1～5/10
平成18年度春募集、一般募集説明会実施
（14都市、23回）
4/23～5/7 原爆展展示会
（旧日銀広島支店）

【特別説明会】
広島大学体育学科（4/19、4/24）

5月

6月

6/4 平成18年度春募集一次選考
（青年海外協力隊）
6/5 岡山県知事帰国表敬
6/8 広島県育てる会総会
6/19～23 出発前表敬

【特別説明会】
広島県立農業技術大学校（6/6）
島根大学（6/21）
山口大学（6/28）

7月

7/28 原爆展報告会（JICA広尾）
7/31 鳥取県国際理解教育研修会

【特別説明会】
広島国際学院大学自動車短期大学（7/10）
広島大学生物生産学科（7/12）
広島国際大学看護学部・薬学部（7/22）

8月

8/10-11 ボランティア総括会議
8/21 現職教員特別参加制度事後研修
（帰国報告会）
8/22 秋募集広告業務入札会

9月

9/25～29 出発前表敬
9/30 教育セミナー山陰ブース出展
（松江市）

10月

10/1～11/10
平成18年度秋募集、一般募集説明会実施
（14都市、23回）
10/19 進路相談カウンセラー会議プレ
会議

【特別説明会】
米子高等技術専門学校（10/12）
鳥取大学医学部（10/16）
鳥取大学（10/13、10/20、10/27）
岡山大学医学部保健学科（10/20）
山口大学（10/25）

11月

11/16～17 全国進路相談カウンセ
ラー会議

12月

12/12 広島市シニア養成セミナー
12/18～22 出発前表敬
12/23 島根県帰国報告会

【特別説明会】
山口県立農業大学（12/8）

1月

1/9 秋募集総括会議
1/24 平成19年度春募集広報業務入札公示
1/27 岡山県ボランティア家族連絡会
1/29 東広島市長帰国表敬

2月

2/10 教育セミナー山陽ブース出展
（福山市）
2/12 鳥取県帰国報告会・家族連絡会
2/20 広島県現職教員特別参加制度事前
研修
2/21 平成19年度春募集広報業務入札会
2/24 協力隊を育てる会ブロック会議
（松山市）

3月

3/4 広島県ボランティア家族連絡会
3/18 山口県ボランティア家族連絡会
3/19～23 出発前表敬

「海外からこんにちは！」

～世界で活躍したボランティアから、お便りが届きました！～



小林 麻衣子

派遣国：スリランカ民主社会主義共和国
派遣期間：2005年4月～2007年4月
職種：村落開発普及員
出身：岡山県

1. どんな活動をしていましたか？

村落開発普及員として都市貧困層の生活環境改善プロジェクトに配属されていました。大規模な運河の改修に伴う周辺住民の移転と生活環境の向上と安定を目的としたプロジェクトで、住民のニーズを吸い上げ、プロジェクト側に伝え、円滑にプロジェクトが進むサポートをしていました。

2. 活動上、苦労したことはありますか？

改修工事に伴う移転で住民が家を建てるのですが、そんなこととは無縁だった彼らにとっては難しいことだらけ。でも、それは私にとっても同じで、住民が困っていること（技術的、金銭的なこと）に答えられないとき、どうしようもなく心が痛みました。

3. 活動上、うれしかったことはありますか？

サイトの住民のおばあちゃんに「ミス（わたしのこと）がくると、お腹がいっぱいになるよ。」と言われたこと。社会の最貧困層に属する彼らにとって、お腹がいっぱいになるということは何よりも幸せの象徴なのだそうです。

4. ボランティアを目指す人に一言お願いします。

こちらが何かをしてあげるのではなく、現地の人と一緒に何かをすることで自分が成長できる機会だと思います。現地の人と築き上げたものは、最高の思い出になるはずです。



< 結婚式 >



桐田 晃

派遣国：ウガンダ共和国
派遣期間：2005年4月～2007年4月
職種：理数科教師
出身：島根県

1. どんな活動をしていましたか？

小学校の教員を目指す若者に、物理と数学を教えていました。

2. 活動上、苦労したことはありますか？

ウガンダに限らずアフリカの理数科目のレベルは決して高くなく、これから教師になる彼らのレベルも決して教師としてふさわしいとはいえませんでした。理数科嫌いの先生が、理数科嫌いの子供を生み出す悪循環に苦労しました。

3. 活動上、うれしかったことはありますか？

授業中「もっと、教えてくれ！ 続けてくれ！」と声が上がった時は、大変うれしかったです。

4. ボランティアを目指す人に一言お願いします。

「国際協力」とか「ボランティア」とか、あまり大上段に構えないのが私のモットーです。結果的に相手国になんらかのプラス要素を残すことができれば（もちろん自分自身にもプラスの経験となれば）、いいのではないのでしょうか。



< ウガンダの若者とスポーツで汗を流す >

JICA中国のHPにも、現在活動中のボランティアからの便りを、たくさん掲載しております。
こちらをご覧ください <http://www.jica.go.jp/branch/cic/pages/volunteers/index.html>

4. 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意思をもっている日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体からの提案を受け、開発途上国への国際協力活動について、JICAがNGOなどの団体との共同事業として実施するものです。協力期間は、3年以内（但し、地域提案型は3年度内）です。団体の規模や種類に応じ、次の3種類の事業形態があります。

草の根協力支援型

国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ないNGOなどの小規模な団体向けです。

草の根パートナー型

開発途上国への一定の支援実績を有しているNGOなどの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した経験や技術に基づいて提案・実施するものです。

地域提案型

地方自治体からの事業提案により、日本の地域社会が持つノウハウ・経験を活かし、現地での技術指導や開発途上国からの人材の受け入れを通して、途上国の人々や地域の発展に役立つ協力活動を支援するものです。



保健教育をおこなう結核治療サポーターと、参加した地域住民（ザンビア・ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト）

4月

草の根協力支援型案件随時募集

以下継続案件の実施契約締結

- 「ミャンマー・コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト」(パートナー型)
- 「スリランカ・ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業」(パートナー型)
- 「ザンビア・ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト」(パートナー型)
- 「中華人民共和国・岡山 - 上海高齢者介護教員養成センター」(パートナー型)
- 「カンボジア・小学校体育科指導書作成支援プロジェクト」(パートナー型)
- 「パラオ共和国・パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力」(支援型)

新規案件

- 「インドネシア・エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト」(支援型)

5月

6月

7月

- 「カンボジア・元気な学校プロジェクト」(提案型) 契約締結

草の根パートナー型第1回募集締切

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

地域提案型募集開始

地域提案型募集締切

- 草の根パートナー型第1回採択内定案件決定
- 「中華人民共和国・重慶市との環境保全交流事業」(提案型) 契約締結

- 「中華人民共和国・日中療育技術交流事業」(提案型) 契約締結

草の根パートナー型第2回募集締切

地域提案型採択内定案件決定

草の根パートナー型第2回採択内定案件決定

- 「中華人民共和国・威海市個別研修環境保全パートナーシップコース」(提案型) 契約締結

草の根パートナー型 「岡山ー上海高齢者介護教員養成センター」 社会福祉法人 旭川荘 常務理事 板野 美佐子

社会福祉法人旭川荘は、これまで交流のあった中国・上海市を拠点として、2004年から高齢者介護教員養成を行っている。2005年からは、JICAの草の根パートナー型として支援を受け、旭川荘と上海市紅十字会との三者で進めている。養成された教員が高齢者介護従事者の養成に携わる仕組みをつくり、上海市を拠点として内陸部へと高齢者介護の専門職の裾野を広げていくことが、この事業の目的である。

現在、上海市の人口は約1,700万人。その内60歳以上の高齢化率は20%であり、高齢者介護は喫緊の課題である。

旭川荘では、26年前より中国から医療福祉を学ぶ研修生、視察団を約1,000名受け入れてきた。旭川荘からも、中国へ福祉の翼として、また福祉セミナー、ホームヘルパー養成などを目的とし、約1,000名が上海市を訪問している。中国よりも先に高齢社会を迎え、高齢者介護の専門職養成の実績を持つ旭川荘が、上海市から人材育成の要請を受けた。

この事業の人材育成の仕組みは、上海市交通大学医学部を会場に介護の基礎を座学で習得する基礎講座、日本に来て介護の実際を学ぶ実習講座、再び上海におけるまとめのフォローアップ講座の3段階で、1年目にまず教員20名を養成し、その養成された教員が直接介護を行う介護従事者30名を年2回、延60名養成する。これを繰り返して4年目の今年で教員81名、介護従事者180名を養成している。そのうち江西省からは、教員養成講座に10名、介護従事者講座に124名、合わせて134名が2007年度までに参加することになる。

基礎講座では旭川荘から15名の講師陣がプログラムにしたがって順々に上海を訪問し、介護概論、老人福祉論、高齢者の医学、高齢者の心理、介護技術などの講座科目を社会的、文化的、歴史的背景を考慮しながら、介護に携わる人達に対して専門的な知識や技術を提供した。



上海での基礎講座の様子



日本での実習講座（介護演習）にとり組む参加者

5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業

もっと、国際協力を身近に感じて欲しい！
開発途上国について知って欲しい！

JICA中国では、これまでの国際協力活動を通して蓄積してきた開発途上国や国際協力に関する様々な情報や経験を、学校や地域社会に還元しています。海外で活躍した青年海外協力隊員による出前講座や海外研修員の学校訪問など、楽しく参加して、たくさん学べる機会をご用意しています。皆さん、奮ってお申込み・参加ください。



国際協力出前講座（写真を使って派遣国の様子を話をしています）

日程	市民参加協力推進事業	教師海外研修	国際理解教育研修会	研修員の学校訪問	高校生国際協力体験プログラム	国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
4月		募集 4/21 応募締切	募集	募集 4/26 応募締切		
5月			5/12 第1次締切		募集	
6月		5/27 - 28 第1次派遣前研修	5/27 第1回研修会			6/1 募集開始
7月	平成18年度市民参加協力推進事業 随時実施	6/17 - 18 第2次派遣前研修	募集		7/7 応募締切	募集
8月		7/29 - 8/12 海外研修			7/14 決定通知	
9月		9/4 研修報告書提出締切	9/8 第2次締切		8/17 - 19 実施	9/22 募集締切
10月		9/30 - 10/1 第1次帰国後研修	9/30 - 10/1 第2回研修会		9/29 プログラム後のレポート/エッセイコンテストのコピー提出締切	
11月			募集			
12月		12/25 実践報告書提出締切				
1月		1/12 第3次締切	1/12 第3次締切			1/12 入賞者発表
2月		1/27 第2次帰国後研修	1/27 第3回研修会			
3月						3/18 表彰式(JICA中国)

視聴覚資料の貸し出し	JICA中国施設見学	国際協力出前講座
随時申込受付・実施		

詳細は、JICA中国HPをご参照ください。

JICA開発教育支援事業を活用して 出前講座の活用事例

八頭町立八東中学校 教諭 中村 明彦

前任校の八頭町立中央中学校で、私は3年程前からJICAの出前講座をお願いしてきました。昨年度は、1年生で『世界がもし100人の村だったら』と青年海外協力隊員の方の帰国報告を、2年生で『フォトランゲージ』を、3年生で『新貿易ゲーム』を行いました。その中で、体育館を使って1年生全員(115人)で行った『100人村』の生徒の感想を紹介します。

今日の学習で一番印象に残ったことは、“もし世界が115人だったら、その中の10人くらいは文字が読めない人だ”、ということを知ってとてもビックリしました。それに、富(アメ)もアフリカは12人で1個だったのに、日本は3人で33個でした。世界が不平等だということが、すごく分かりました。(女子生徒)

一番僕が心に残ったのは、「言葉がしゃべれなかったら、分からなかったら」で、本当に言葉は大事だと授業で実感した。この授業で花岡さんが教えてくれたことがとてもいい経験になったし、ゲームっぽくてとてもとても楽しかった。帰ったら、家族のみんなに授業でやったことを報告したい。(男子生徒)

生徒は、日本は豊かな国であり、文字が読めることを当たり前を感じています。しかし、それが世界の中では、いかに恵まれた状況であるかを、この出前講座のシミュレーションによって感じる事ができたようです。100人を越える大勢の生徒で、ファシリテーターをしていたJICA国際協力推進員の花岡さんにはご苦労をお掛けしましたが、視覚的な効果が大きくなり、とても良かったです。



「世界がもし100人の村だったら」を体験中

社会科の先生にも協力してもらい、学級単位で行った3年生の『貿易ゲーム』でも、「貿易によって成り立っていく国の仕組みがよく分かった」「他国と協力することが大切だと思った」「貧しい国々に援助することも必要だと思った」「どの国も平等ではなく、有利な国や不利な国があることがよく分かった」など、シミュレーションを通して、世界の縮図を実感できたことが大きかったようです。

いずれの場合も、青年海外協力隊員の経験がある国際協力推進員の花岡さんだからこそ、生徒へのアドバイスやまとめの話に説得力があり、生徒にとって印象深かったようです。新しい学校に異動しましたが、これからもJICAの出前講座を活用させていただいて、国際理解教育に取り組んでいきたいと思えます。

「世界の子どもの絵画展を実施して」

岡山県企画振興部国際課 主任 唐下 英二

岡山県では、毎年10月を「おかやま国際貢献月間」と定め、国際貢献活動に関連する様々な事業を実施しています。そのオープニング・イベントとして、平成18年10月1日・2日、イオン倉敷ショッピングセンター内において、「世界の子どもの絵画展」を初めて開催しました。

絵画展では、岡山県出身のJICAボランティアである「おかやま国際協力大使」のうち6名と連携して、日本では小中学生にあたる年代の子どもたち約300人に描いたもらった絵を展示しました。JICAボランティアの活動紹介や県内NGOのブースなども設けました。会場が大規模商業施設内であったこともあり、多くの方に来場いただくことができました。

絵のテーマは「私の国」でした。各国の子どもたちが自分の住む国の何をどのように見つめて描くのか、それが日本人にどのように伝わるか、非常に興味深いものがありました。初めてこのような絵を描いた、という子どもたちも多くいたようですし、技術的なレベルは日本の同世代の子どもとは異なるかも知れません。しかし、自分が住んでる街並みの様子、自然や野生動物のいる風景などが並んだ会場では、「生活がよくわかるすてきな絵でした」「躍動感があふれる絵で元気が出ます」などの声が多く聞かれ、各国の子どもたちの視線が純粋に反映された絵は、間違いなく来場者の心に深く響いたようです。

次年度も絵画展を開催する予定です。日本の子どもたちの描いた絵を彼らが見たら、日本という国をどのように感じてくれるのか？ 今後はそのような機会を設けてもよいのでは、と感じています。



各国から届いた「私の国」の絵画を興味深く鑑賞中の来場者

6. 大学との連携協力

援助リソースとしての大学

大学は、JICAが実施する開発援助の豊富なリソース（人材、技術・情報、研修施設等の資源）として、これまで大きな役割を果たしてきました。国際協力の対象は、広範且つ多様になってきております。JICA中国は、各大学の特色・優位性を活かした連携活動を行っています。



山口大学連携講座「国際協力論」の受講者

連携のメリット

JICAは、大学との連携強化によって、国際協力事業の質の向上を図ることができます。また、地元に応いネットワークと影響力を持つ大学と連携することによって、地域でのJICA事業の理解と協力を推進できます。一方、大学側には、研究フィールドの拡充、国際協力の現場を教育の場として活用するなど、国際化促進のメリットがあります。

JICA中国による大学との連携事業

JICA中国の主な業務は、海外からの研修員の受入と市民参加協力の実施です。後者は、青年海外協力隊等ボランティアの海外派遣、地域NGOによる海外での草の根技術協力実施の支援、学生等を対象とする開発教育（国際理解教育）支援です。下表は、これらの業務での大学連携協力の平成18年度の実績です。大学は、国際協力人材の育成拠点としても期待されます。

JICA中国による大学連携実績（平成18年度）

事業区分	連携先大学	連携内容
研修員の受入	広島大学、県立広島大学、鳥取大学、水産大学校、岡山大学、加計学園倉敷芸術科学大学	海外研修員の受入
青年海外協力隊	広島大学	派遣隊員の単位認定
	広島大学	推薦入学制度の適用
	鳥取大学、島根大学、岡山大学、山口県立農業大学校、広島大学、広島県立農業技術大学校、山口大学、広島国際大学、広島国際学院大学	特別説明会による募集
開発教育支援	鳥取大学、広島女学院大学、山口大学、広島大学、広島文教女子大学、山口県立大学、川崎医療福祉大学、天理大学、広島市立大学、広島修道大学、岡山大学、県立広島大学、ノートルダム清心女子大学	出前講座の実施
	鳥取大学、山口大学、近畿大学、広島修道大学、広島経済大学	市民講座、講演の実施
	広島大学、広島国際大学	JICA中国施設の見学
連携講座	山口大学	「国際協力論」授業への講師派遣
包括連携協力	広島大学、山口大学	協定書・覚書に基づく協力

JICA中国・山口大学連携講座「国際協力論」

山口大学経済学部 教授 今津 武

JICA中国と山口大学経済学部、教育学部は、平成18年3月に包括連携協力覚書に署名しました。同覚書に基づく協力事業第1弾としてとして、山口大学経済学部でJICA協力授業「国際協力論」を開講（4月～7月）しました。本授業は、世界の「貧困問題」についてその現状を理解すること、世界の貧困の原因を議論し、そのことが私たち日本をはじめとする先進国に及ぼす影響を学習することを目標としました。15回の授業のうち5回をJICA中国からの派遣講師に担当していただき、その授業内容は下表の通りでした。

講義内容	担当
国際協力機構（JICA）の歩みと役割	宿野部 雅美（JICA中国）
技術協力の内容と課題	宇佐見 晃一（元バングラデシュ専門家）
JICA国内事業とパートナー・シップ（自治体、NGO、大学の役割）	辻野 博司（JICA中国）
国際協力の現場から	岩崎 薫（JICA中国）
青年海外協力隊経験者からの活動報告	水野 雅子（元インドネシア青年海外協力隊員）

学生達からは、「JICAについて詳しく知ることが出来てよかった。先進国に住む1人として、途上国支援などにいろいろ協力したいと思った。」「山口大学の授業で、現場の仕事（JICA）の内容を話されたことは大変良い刺激になったと思います。」「国際協力の現場の苦労がよく解りました。」「私たちがどれだけモノを贅沢に使用しているのかと思った。少しでもモノを大切に使用するようし、途上国の人々のためにボランティアをしたい。」などの意見が寄せられ、途上国への理解を深め、自分たちの豊かさに感謝し、何らかの形で開発途上国のために協力したいとの意識を芽生えさせることができたと評価しています。

この授業は「開放授業」として学外にも開放され、7名の社会人の方が受講されました。また外務省から派遣いただいた川村真紀さんによる「日本外交とODA」の講義も組み込みましたが、その様子は外務省ホーム・ページに掲載されています。



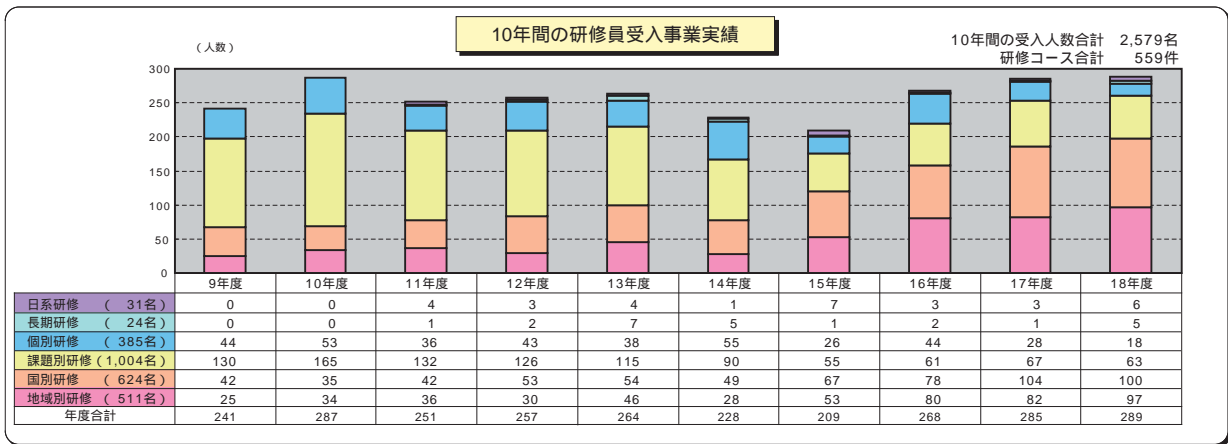
インドネシアでの隊員活動を紹介する水野講師



シニア世代も「開放授業」に熱心に参加

第2部 図表と写真で見るJICA中国10年間の事業実績

1. 研修員受入事業実績



10年間の主な集団型研修コース実施実績一覧

コース名	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
生活環境保全技術										
日系日本語専修										
火力発電										
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電										
地方自治体行政実務										
荒廃林地復旧技術										
乾燥地水源の開発と利用										
乾燥地水源の開発と環境評価										
有用微生物研究と応用										
廃棄物処理総合対策技術										
廃棄物管理総合技術										
傾斜地環境保全型農業										
下水道と浄化槽などによる生活排水処理対策										
集合処理(下水道など)と個別処理による生活排水処理計画										
科学教育実技										
中等科学教育実技										
観光開発と環境保全										
地域観光開発と持続可能な観光振興										
食品加工・保全技術										
地域中核病院を核とした包括的高齢者ケア										
国際捜査共助セミナー										
半閉鎖性水域における生物生産と環境保全										
公害防止行政										
持続的開発と環境資源管理政策										
持続的開発に向けた環境資源管理の理論と技術										
砂漠化対処セミナー										
地域健康開発のためのNGO/NPOの能力向上										
漁業生産管理技術										
水産業振興のための海洋機械工学の基礎										
沿岸漁業の統合的な管理手法										
魚類防疫・環境管理										
養殖魚の健康と安全管理										
マダガスカル地域「中小企業振興」										
西アフリカ地域「初等教育行政」										
アフリカ仏語圏地域「教育行政」										
南部アフリカ諸国「中小企業育成」										
中東地域「下水道維持管理」										
南西アジア地域「河口沿岸水域における持続的な生物資源管理」										
中南米地域「生活排水処理計画」										
南西アジア地域「公害防止行政」										
中東欧地域「サボータージュインダストリー育成」										
社会的環境管理能力の形成と政策評価										
アフリカ地域「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」										
中南米地域「治安対策強化セミナー」										
サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」										
フィリピン「理数科教育行政」										
カンボジア「選挙支援」										
カンボジア「地方自治体行政」										
カンボジア「地方行政」										
ペルー「観光産業育成計画指導者セミナー」										
南アフリカ共和国「教育行政」										
南アフリカ共和国「地方教育行政」										
中華人民共和国「所得税制度・執行行政」										
南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」										
ガーナ「理数科教員強化」										
ガーナ「理数科教師教育セミナー」										
ガーナ「教育行政」										
インドネシア「地方自治行政」										
ケニア「INSET運営管理」										
シリア「電力研修所の技術者育成」										
ボスニア・ヘルツェゴビナ「平和のための教育ネットワーク構築」										
エチオピア「学校運営」										
カザフスタン「保健行政」										
イラク「火力発電(ガスタービン)」										
シエラレオネ「平和復興のための国際協力セミナー」										
フィリピン「女性起業家育成支援」										
インドネシア「国際収支・国際経済マネジメント能力強化」										
メキシコ「細胞診断」										
ケニア「中等理数科教育実技」										
フィリピン「現職教員研修」										
ガーナ「中小企業振興計画」										
インドネシア「地方自治行政」										
セルビア・モンテネグロ「中小企業振興」										

(注) ■部分が実施年度。



課題別研修：「集合処理(下水道など)と個別処理による生活排水処理計画」コース研修員による浄化槽の視察

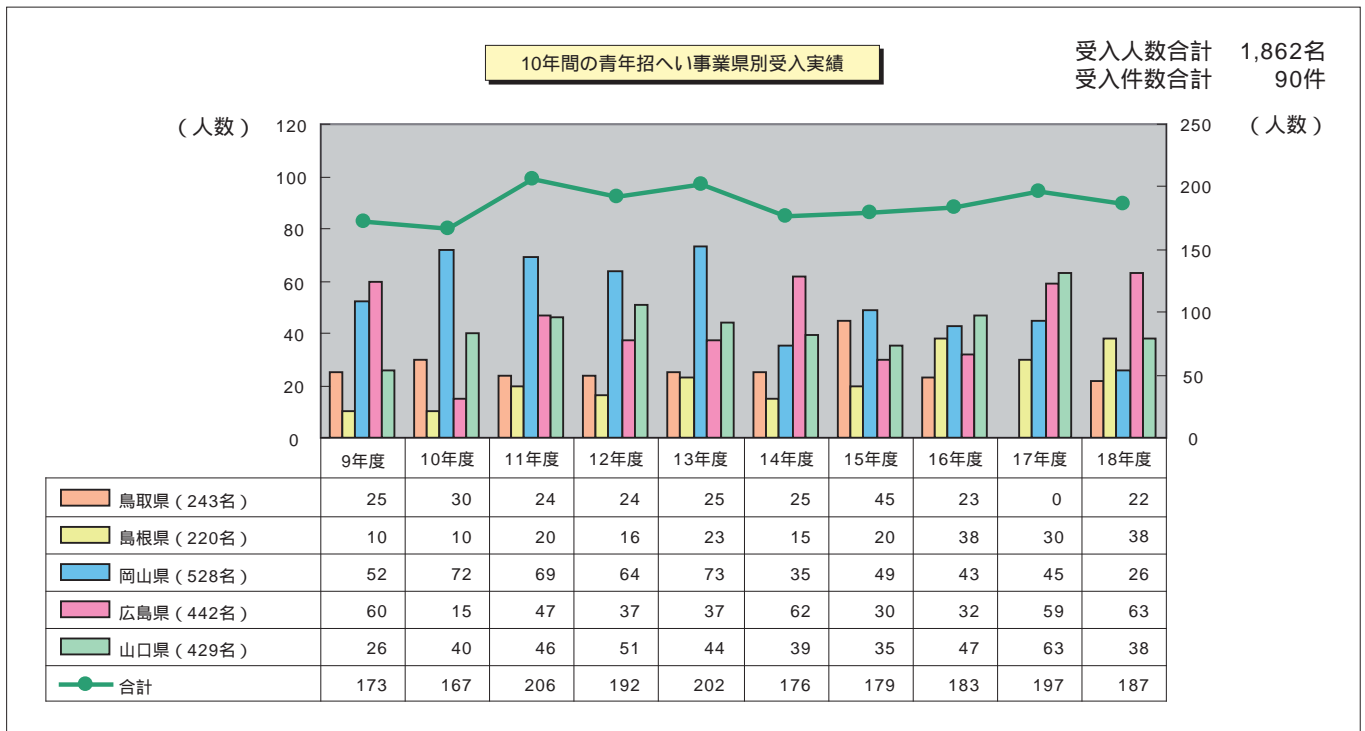


地域別研修：アフリカ地域「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」コース研修員による小学校の視察



国別研修：シエラレオネ「平和復興のための国際協力セミナー」コース研修員による平和記念資料館の視察

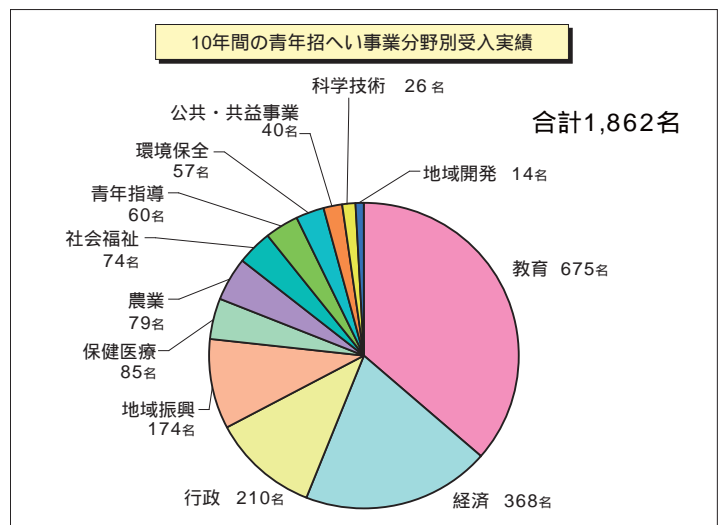
2. 青年招へい事業実績



10年間の青年招へい事業団体別受入実績

合計 1,862名

県名	受入団体名	受入人数
鳥取県	とっとり青友会	243
島根県	島根県国際交流青友会	63
	しまね国際センター	51
	国際ネットワークしまね	92
岡山県	島根県地域国際協力連合会	14
	岡山県世界青年友の会	66
	岡山県青年館	194
広島県	岡山青年国際交流会	61
	津山と世界を結ぶ会	207
	しょうばち国際交流協会	187
	広島YMCA学園	122
山口県	青年海外協力協会中国支部	39
	広島青少年文化センター	55
	三次国際交流協会	39
	世界青年徳山友の会	213
	山口県国際交流協会	143
	防長青年館	50
	宇部市宇部環境国際協力協会	23



出雲科学館で小学生の理科実験を視察



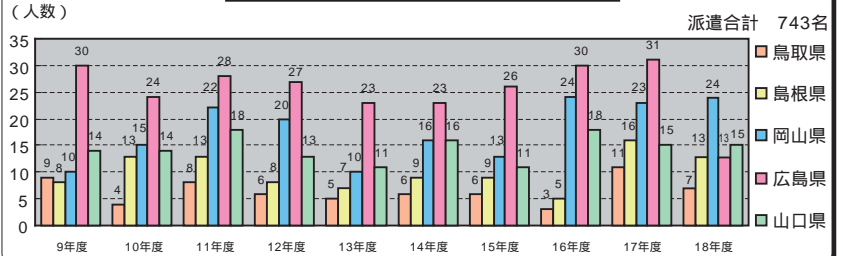
アフリカ女性教員グループが小学校を訪問
児童全員でお出迎え

3. 海外ボランティア事業実績

10年間の青年海外協力隊派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
9年度	9	8	10	30	14	71
10年度	4	13	15	24	14	70
11年度	8	13	22	28	18	89
12年度	6	8	20	27	13	74
13年度	5	7	10	23	11	56
14年度	6	9	16	23	16	70
15年度	6	9	13	26	11	65
16年度	3	5	24	30	18	80
17年度	11	16	23	31	15	96
18年度	7	13	24	13	15	72
合計	65	101	177	255	145	743

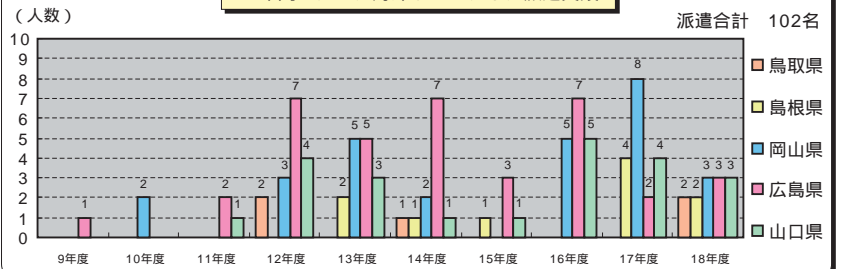
10年間の青年海外協力隊派遣実績



10年間のシニア海外ボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
9年度				1		1
10年度			2			2
11年度				2	1	3
12年度	2		3	7	4	16
13年度		2	5	5	3	15
14年度	1	1	2	7	1	12
15年度		1		3	1	5
16年度			5	7	5	17
17年度		4	8	2	4	18
18年度	2	2	3	3	3	13
合計	5	10	28	37	22	102

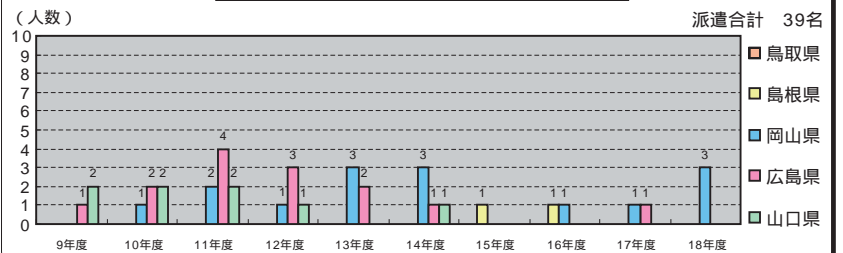
10年間のシニア海外ボランティア派遣実績



10年間の日系社会青年ボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
9年度				1	2	3
10年度			1	2	2	5
11年度			2	4	2	8
12年度			1	3	1	5
13年度			3	2		5
14年度			3	1	1	5
15年度		1				1
16年度		1	1			2
17年度			1	1		2
18年度			3			3
合計	0	2	15	14	8	39

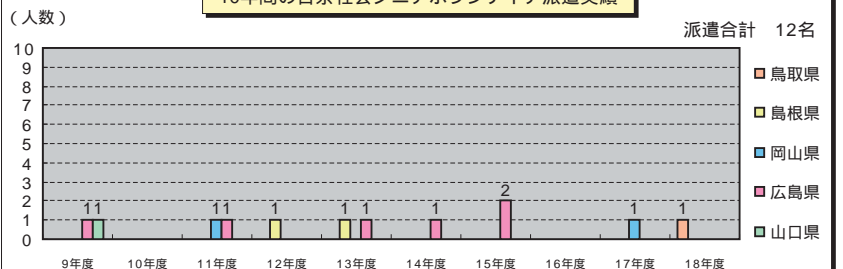
10年間の日系社会青年ボランティア派遣実績



10年間の日系社会シニアボランティア派遣実績

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
9年度				1	1	2
10年度						0
11年度			1	1		2
12年度		1				1
13年度		1		1		2
14年度				1		1
15年度				2		2
16年度						0
17年度			1			1
18年度	1					1
合計	1	2	2	6	1	12

10年間の日系社会シニアボランティア派遣実績



ガーナ国実業高校での授業風景
(青年海外協力隊)



同僚の歯科医師が口腔内を清掃中
(シニア海外ボランティア)



青年海外協力隊募集説明会での相談コーナー

4. 草の根技術協力事業実績（平成14年度～平成18年度）

< 草の根協力支援型 >

国名	プロジェクト名	団体名	所在県	実施期間
モンゴル	中央県における畜産廃棄物・家庭ゴミ堆肥化施設導入	鳥取県モンゴル中央県	鳥取	2002.4.1～2002.6.29
ケニア	クワボンザ村伝統手工芸品生産者グループ育成・運営指導計画	山口ケニアを知る会	山口	2002.4.1～2003.1.18
南アフリカ共和国	フリーステート州ツェツェン村農業開発支援事業	特定非営利活動法人B.L.B	岡山	2003.9.1～2005.12.31
パラオ共和国	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	日本パラオ協会	広島	2005.11.1～2008.10.31
インドネシア	エンレンカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	三瓶スラウェシ友好促進センター	島根	2006.4.5～2009.3.31

< 草の根パートナー型 >

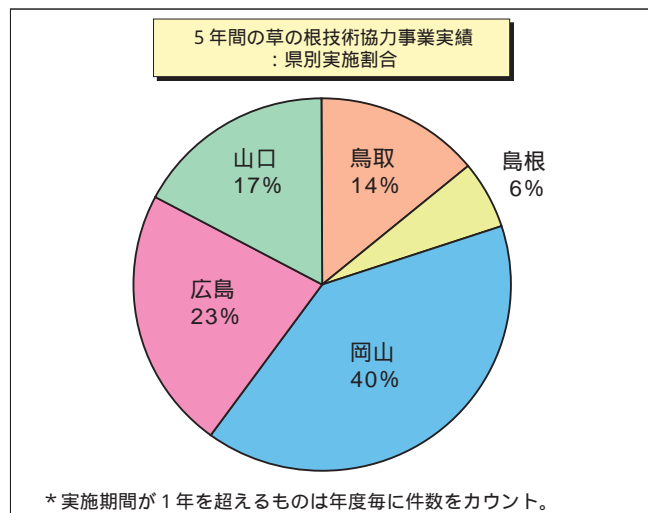
国名	プロジェクト名	団体名	所在県	実施期間
スリランカ	ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業	特定非営利活動法人アムダ	岡山	2004.5.1～2006.6.30
ミャンマー	コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト	特定非営利活動法人アムダ	岡山	2004.10.1～2006.8.31
中華人民共和国	岡山ー上海高齢者介護教員養成センター	社会福祉法人旭川荘	岡山	2005.4.15～2008.3.31
ザンビア	ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト	特定非営利活動法人アムダ	岡山	2005.7.1～2007.12.31
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド	岡山	2006.2.1～2008.7.31

< 地域提案型 >

国名	プロジェクト名	団体名	所在県	実施期間
インドネシア	稀少有用植物の保護・保全（研修員受入）	向島洋ランセンター	広島	2002.10.7～2002.12.1
ペルー	低公害練炭製造技術（研修員受入）	宇部環境国際協力協会	山口	2003.1.14～2003.3.2
中華人民共和国	都市環境保全行政（研修員受入）	宇部環境国際協力協会	山口	2003.2.19～2003.4.27
ブータン	和紙製造技術（研修員受入）	石州半紙技術者協会	島根	2003.3.17～2003.3.28
インドネシア	稀少有用植物の保護・保全（研修員受入）	向島洋ランセンター	広島	2003.10.1～2003.11.30
モンゴル	堆肥生産技術及び野菜生産技術（専門家派遣）	モンゴル中央県親善協会	鳥取	2003.10.22～2004.2.21
中華人民共和国	都市環境保全行政（研修員受入）	宇部環境国際協力協会	山口	2004.2.11～2004.4.18
モンゴル	内科、産婦人科診断技術（研修員受入）	鳥取県立中央病院	鳥取	2004.3.29～2005.1.16
モンゴル	野菜生産指導及び堆肥生産技術・流通指導（専門家派遣）	モンゴル中央県親善協会	鳥取	2004.5.15～2005.3.22
カンボジア	技術学校（自動車整備・溶接）運営能力向上（専門家派遣/研修員受入）	財団法人ひろしま国際センター	広島	2004.8.1～2004.11.5
中華人民共和国	都市環境保全行政（研修員受入）	宇部環境国際協力協会	山口	2004.10.31～2004.12.26
モンゴル	堆肥化施設管理・運営計画指導（研修員受入）	モンゴル中央県親善協会	鳥取	2005.6.27～2006.3.31
カンボジア	カンボジア元気な学校プロジェクト（専門家派遣）	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	広島	2005.11.1～2008.3.31
中華人民共和国	威海市個別研修県境保全パートナーシップコース（研修員受入他）	宇部環境国際協力協会	山口	2006.2.20～2008.3.31
中華人民共和国	重慶市との環境保全交流事業（研修員受入）	広島市	広島	2006.9.11～2007.3.31
中華人民共和国	日中療育技術交流事業（専門家派遣/研修員受入）	鳥取県立総合療育センター	鳥取	2006.10.16～2009.3.31



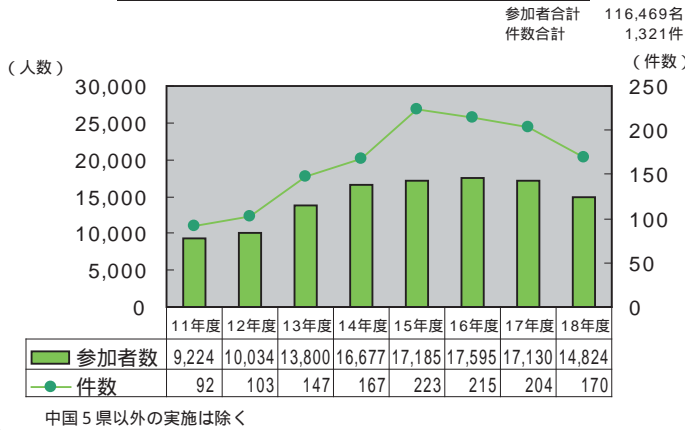
ミャンマー「コーカン特別地区プライマリーヘルスケア - プロジェクト」のターシュエタン村での医療診察活動の様子



5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業実績

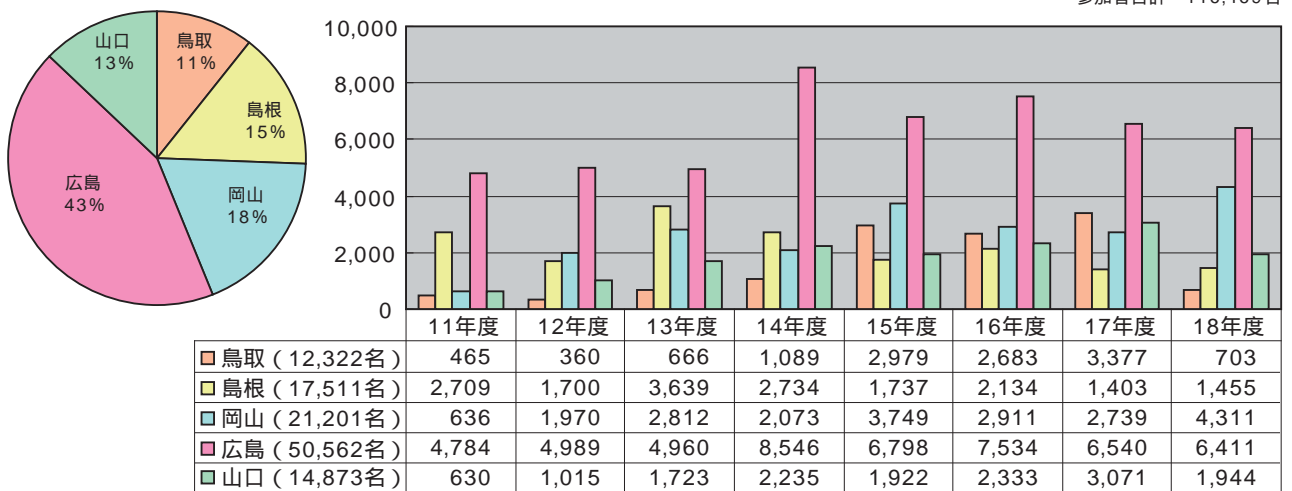
国際協力出前講座

8年間の国際協力出前講座年度別参加者実績

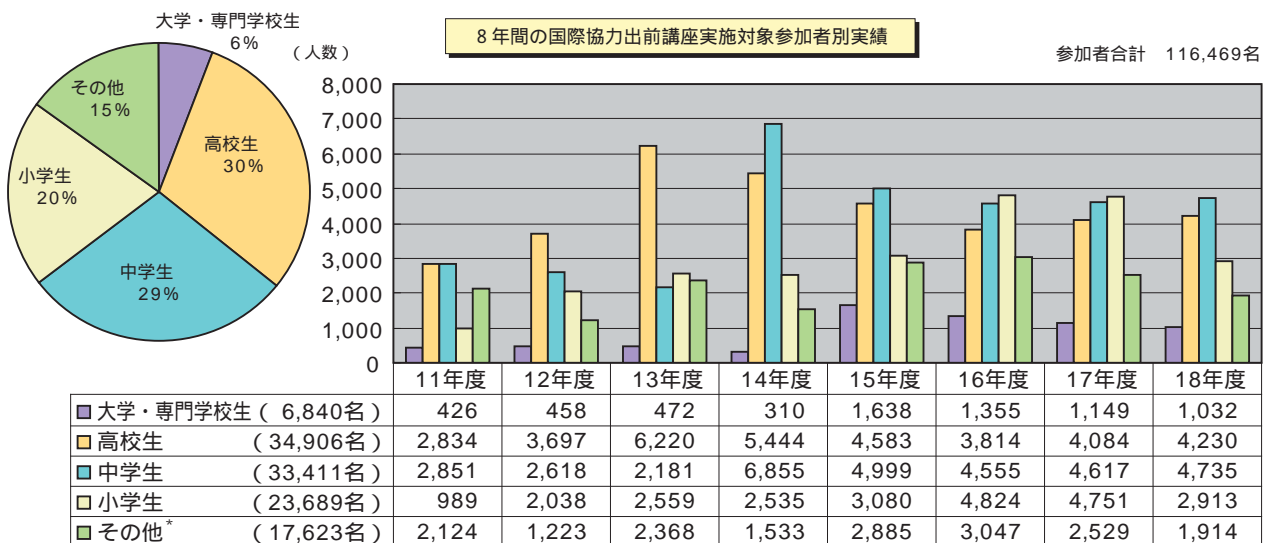


小学生にザンビア国での体験談を語る元青年海外協力隊員

8年間の国際協力出前講座県別参加者実績



8年間の国際協力出前講座実施対象参加者別実績

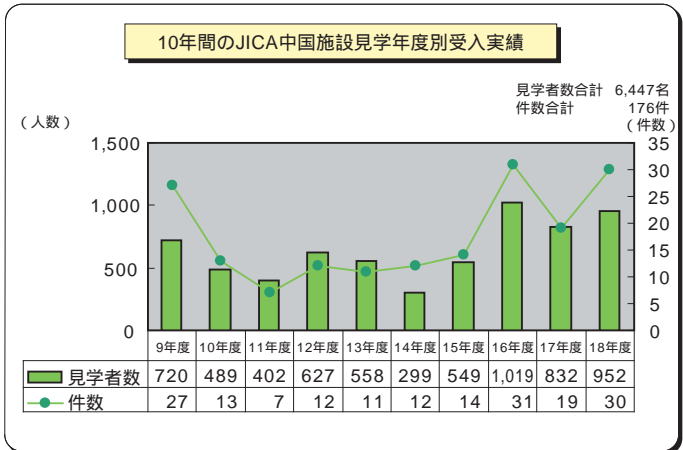


*その他：社会人、教職員・P T A、一般市民、県及び市町村職員など

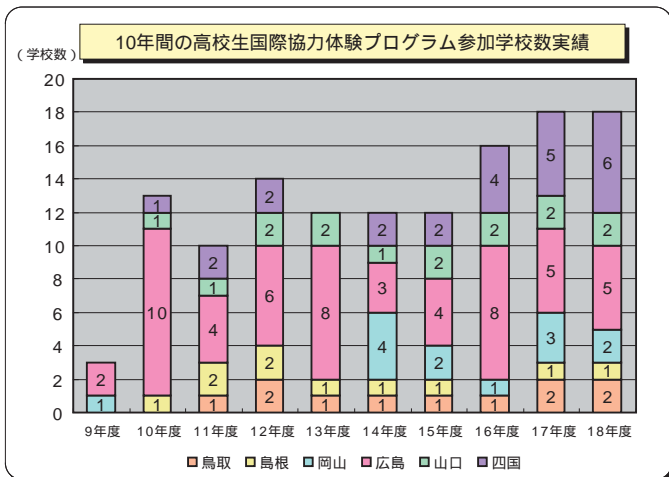
JICA中国施設見学



写真を使ってワークショップを行う参加者



高校生国際協力体験プログラム

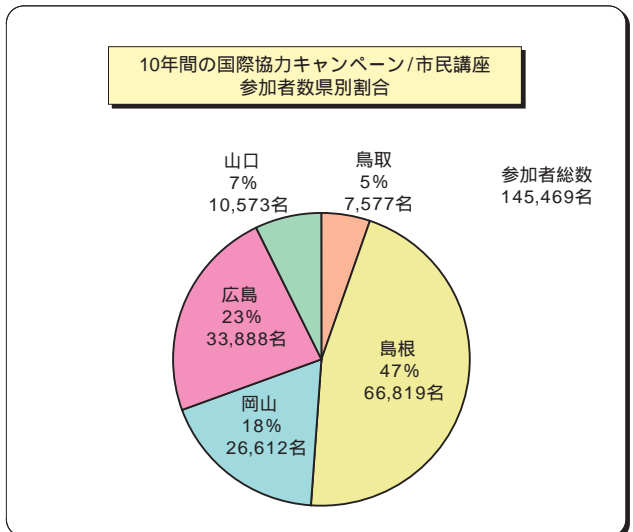


3日間の体験成果を発表する高校生

国際協力キャンペーン / 市民講座実績

10年間の国際協力キャンペーン / 市民講座参加者県別実績

年度	鳥取	島根	岡山	広島	山口	年度別合計
9年度	37	0	521	105	660	1,323
10年度	0	0	80	350	1,570	2,000
11年度	0	50	0	1,490	900	2,440
12年度	200	50	50	802	350	1,452
13年度	625	30,340	705	4,460	1,240	37,370
14年度	1,220	20,210	1,300	440	325	23,495
15年度	1,286	15,314	2,597	5,299	3,422	27,918
16年度	1,390	199	3,916	5,524	348	11,377
17年度	1,538	343	2,753	8,182	1,146	13,962
18年度	1,281	313	14,690	7,236	612	24,132
県別合計	7,577	66,819	26,612	33,888	10,573	145,469



10年間の教師海外研修中国地方参加者実績

参加者合計 107名

年度	研修国名	人数	研修国名	人数	合計
9年度	ベトナム	1	フィジー	1	4
	パナマ	1	ジンバブエ	1	
10年度	マラウイ	4	バングラディシュ	5	9
11年度	ボリヴィア	4			4
12年度	タイ	5	ネパール	9	14
13年度	マラウイ	3	ホンジュラス	3	6
14年度	メキシコ	2	タンザニア	3	5
15年度	タンザニア	3	フィリピン	3	10
	タイ	4			
16年度	南アフリカ共和国	11	エチオピア	12	23
17年度	ケニア	8	ガーナ	8	16
18年度	ケニア	8	ガーナ	8	16

教師海外研修



ガーナの学校を訪問し、子供達に日本の紹介をする参加教師



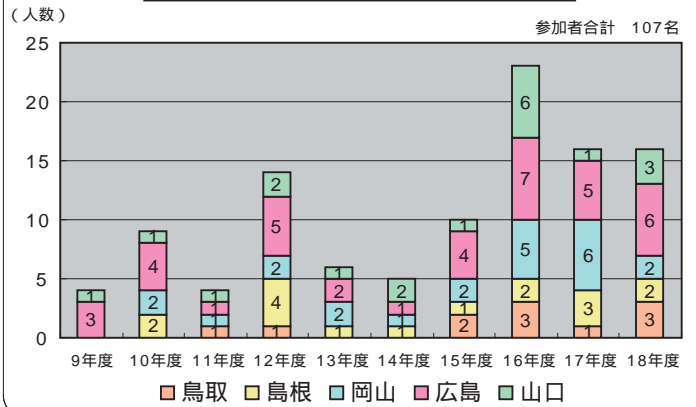
元気なガーナの子供達に囲まれて

国際理解教育研修

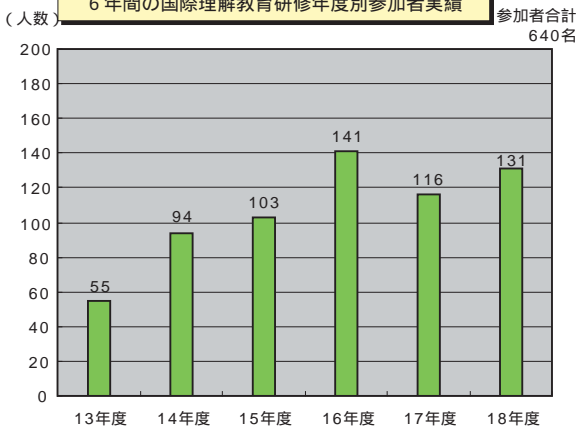


参加型学習の研修を熱心に聞いている参加者

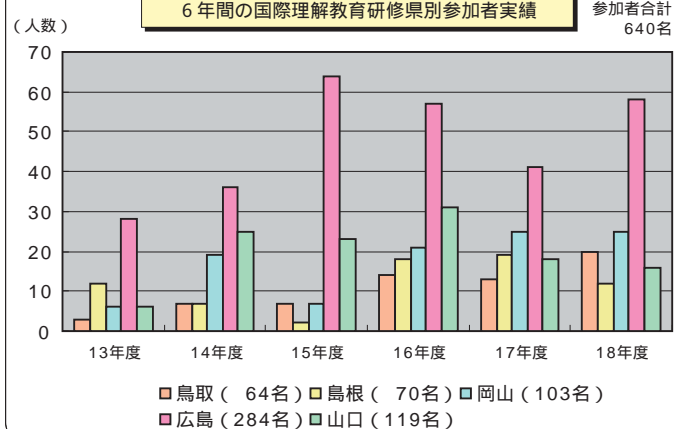
10年間の教師海外研修中国地方参加者実績



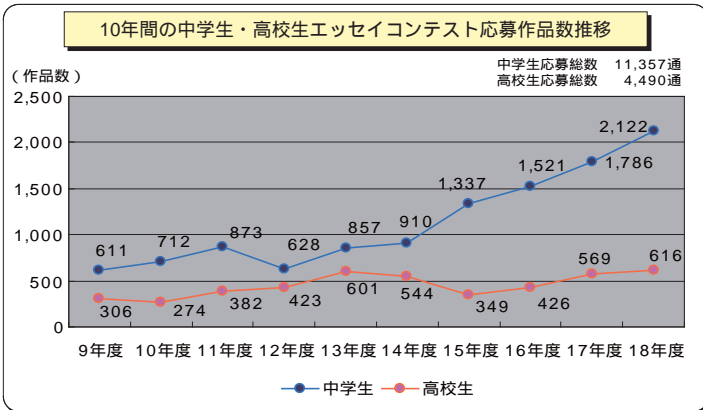
6年間の国際理解教育研修年度別参加者実績



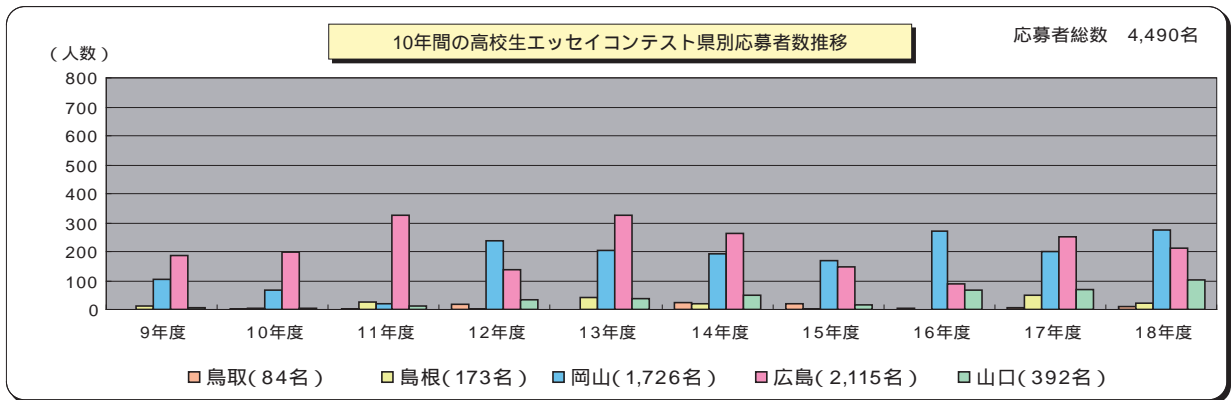
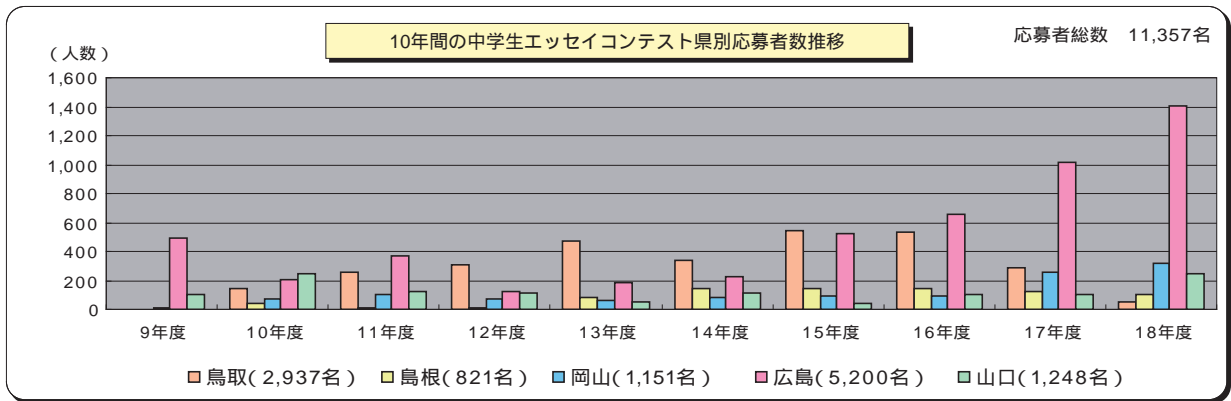
6年間の国際理解教育研修県別参加者実績



中学生・高校生エッセイコンテスト



エッセイコンテストの表彰式で賞を受ける受賞者



中学生・高校生エッセイコンテスト中国地方過去10年間の優秀作品

受賞年度	賞	所属学校名	氏名	題名
9年度	特選<文部大臣奨励賞>	広島工業大学附属中学校	藤村 容子	『悲しみ』をなくしたい
	準特選	広島県立安芸府中等高等学校	福島 理恵	途上国への資金援助
10年度	準特選	私立ノートルダム清心中学校	松本 恵美	まだ見ぬ心の友へ
11年度	準特選	倉吉市立中学校	上井由紀子	生命の灯を消さないで
12年度	特選	岡山県立総社南高等学校	王 莎莎	今、私にできること
14年度	特選<文部大臣奨励賞>	私立福山暁の星女子中学校	岡崎 望	身近な国際交流を大切に
	特選<外務大臣奨励賞>	岡山県立総社南高等学校	吉川久美子	私の出会った発展途上国
	準特選	私立広島工業大学附属広島高等学校	廣永 智子	ログハウスから見る世界
16年度	準特選	私立宇部短期大学附属中学校	新谷 紘孝	マングローブ植林体験を通して
	準特選	広島大学附属福山中学校	劉 揚	本当の「理解」から

第3部 実績・参考資料

1. 平成18年度事業実績

研修員受入実績.....	24
研修員福利厚生事業実績.....	27
日本語研修実施実績.....	28
青年招へい受入実績.....	29
海外ボランティア新規派遣実績.....	30
草の根技術協力事業実績.....	32
国際協力キャンペーン / 市民講座実績.....	33
国際協力出前講座実績.....	35
JICA中国施設見学（異文化体験教室）受入実績	40
教師海外研修実績.....	42
国際理解教育研修会.....	43
研修員の学校訪問実績.....	45
高校生国際協力体験プログラム.....	46
高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	49
中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	50
海外視察等に関する支援・便宜供与実績.....	52
海外記者派遣実績.....	53
職業インタビュー受入実績.....	53
広島大学との連携協力.....	54

2. 参 考 資 料

主な関係団体（中国5県）.....	58
国際協力機構の組織図.....	59
JICA中国の沿革	60
JICA中国の組織図・業務内容	61
JICA中国の職員	62

平成18年度 研修員受入実績

(1) 技術研修員受入実績

合計 283名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
廃棄物管理総合技術	集団	7	東ティモール、ベトナム、パキスタン、ミクロネシア、ニカラグア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	2006/5/9～ 2006/8/6	広島県環境部環境調整室	ひろしま国際センター
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	集団	10	モンゴル、バングラデシュ、パキスタン、スリランカ、コロンビア、ベネズエラ、ナイジェリア、ジンバブエ	2006/5/16～ 2006/7/15	海外電力調査会、 (株)PET	海外電力調査会
養殖魚の健康と安全管理	集団	8	インドネシア、マレーシア、ミャンマー、チリ、コロンビア、トルコ、ケニア	2006/5/30～ 2006/8/5	(独)水産大学校	(独)水産大学校
乾燥地水資源の開発と環境評価	集団	9	中華人民共和国、パキスタン、アフガニスタン、エチオピア、ナイジェリア、タンザニア、ジンバブエ、ニジェール	2006/7/4～ 2006/11/12	(国)鳥取大学農学部・ 乾燥地研究センター	なし
中等科学教育実技	集団	7	ガンビア、ガーナ、マラウイ、ナミビア、南アフリカ共和国、ウガンダ、タンザニア	2006/8/8～ 2006/10/1	(国)広島大学大学院教育学研究科	なし
地域観光開発と持続可能な観光振興	集団	12	タイ、中華人民共和国、バングラデシュ、パプアニューギニア、ソロモン、パラオ、コスタリカ、パナマ、ペルー、イエメン、セルビア・モンテネグロ、ウズベキスタン	2006/9/5～ 2006/11/12	広島県商工労働部産業振興局観光振興室、 (国)広島大学大学院地域経済システム研究センター	ひろしま国際センター
食品加工・保全技術	集団	5	インドネシア、マレーシア、タイ、ミャンマー、フィリピン	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県立食品工業技術センター	ひろしま国際センター
沿岸漁業の統合的な管理手法	集団	5	マレーシア、メキシコ、サモア、コスタリカ、ペルー	2007/3/21～ 2007/6/30	(独)水産大学校	(独)水産大学校
南東欧地域「サポーティングインダストリー育成」	地域別	8	ブルガリア、クロアチア、ルーマニア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モルドバ、ウクライナ	2006/5/30～ 2006/7/2	県立広島大学	ひろしま国際センター
仏語圏アフリカ「教育行政」	地域別	8	ブルキナファソ、カメルーン、チャド、コードジボアール、マダガスカル、ニジェール	2006/6/6～ 2006/7/16	(国)広島大学高等教育研究開発センター、 広島県立教育センター	ひろしま国際センター
中東地域「上水道維持管理」	地域別	10	イラク、ヨルダン、オマーン、シリア、イエメン	2006/7/4～ 2006/9/10	広島市水道局	広島市水道局
中南米地域「生活排水処理計画」	地域別	12	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、パラグアイ	2006/8/15～ 2006/11/2	東広島市	ひろしま国際センター
南西アジア地域「公害防止行政」	地域別	7	スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ	2006/10/10～ 2006/12/24	広島県環境部環境調整室	ひろしま国際センター
社会的環境管理能力の形成と政策評価	地域別	12	インドネシア、フィリピン、ベトナム	2006/11/7～ 2006/12/10	(国)広島大学大学院国際協力研究科(IDECC)	なし

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
中南米地域 「治安対策強化セミナー」	地域別	10	コスタリカ、ドミニカ共和国、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、ブラジル、ペルー、コロンビア	2006/12/3～ 2006/12/20	広島県警察本部	ひろしま 国際センター
南部アフリカ地域 「中小企業育成」	地域別	9	マラウイ、セーシェル、タンザニア、ザンビア、ジンバブエ、モーリシャス	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県商工労働部、 ひろしま国際センター	ひろしま 国際センター
サブサハラ・アフリカ地域 「平和構築としてのガバナンス能力強化」	地域別	9	ルワンダ、ウガンダ、シエラレオネ	2007/1/30～ 2007/2/25	広島県	ひろしま 国際センター
アフリカ 「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	地域別	12	ナイジェリア、ブルキナファソ、マダガスカル、ザンビア	2007/2/12～ 2007/3/16	(国)広島大学教育開発 国際協力研究センター (CICE)、国連大学	なし
課題別研修 小計		160				
平和のための教育ネットワーク構築	国別 (GI)*	9	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2006/6/13～ 2006/7/19	広島県総務部国際室	ひろしま 国際センター
地方行政	国別 (GI)	10	カンボジア	2006/10/10～ 2006/11/19	東広島市	ひろしま 国際センター
火力発電	国別 (GI)	10	イラク	2006/10/24～ 2006/12/24	(株)PET	海外電力調査会
理数科教員養成者研修	国別 (GI)	10	南アフリカ共和国	2006/10/31～ 2006/12/10	(国)広島大学CICE、 (国)鳴門教育大学自然系	(国)鳴門教育大学、 (国)広島大学
女性起業家育成支援	国別 (GI)	10	フィリピン	2006/11/7～ 2006/12/17	広島県、広島県女性会議	ひろしま 国際センター
地方自治行政	国別 (GI)	13	インドネシア	2007/1/14～ 2007/1/27	広島県総務部国際室	ひろしま 国際センター
INSET運営管理	国別 (GI)	12	ケニア	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県立教育センター	ひろしま 国際センター
国際収支・国際経済マネジメント能力強化	国別 (GI)	10	インドネシア	2007/3/6～ 2007/3/24	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学
細胞診指導医育成	国別	3	メキシコ	2006/4/14～ 2006/6/10	加計学園倉敷芸術科学 大学生命科学部生命科学科	なし
中小企業振興	国別	6	セルビア・モンテネグロ	2006/5/30～ 2006/7/2	県立広島大学	なし
配電補修	国別	2	カンボジア	2006/6/15～ 2006/7/9	四国電力(株)、(株)四電工、中国電力(株)エネルギー事業推進室海外事業部	海外電力調査会
中等理数科教育実技	国別	5	ケニア	2006/8/8～ 2006/10/8	(国)広島大学大学院教育学研究科、IDEC	なし
乾燥地緑化技術	国別	2	ブラジル	2006/10/12～ 2006/10/29	(国)鳥取大学乾燥地研究センター	なし
教育マネジメントと地方分権化	国別	3	ガーナ	2006/11/26～ 2006/12/9	(国)広島大学	なし

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
食品加工・保全技術	国別	1	ベトナム	2007/1/9～ 2007/3/18	広島県食品工業技術センター	ひろしま国際センター
中小企業育成促進	国別	5	ガーナ	2007/1/19～ 2007/3/18	広島県商工労働部	ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	3	ウガンダ	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	2	マラウイ	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	2	ザンビア	2007/2/13～ 2007/3/18	(国)広島大学IDEC、 広島県教育センター	ひろしま国際センター
国別研修 小計		118	* (GI): General Information作成の研修コース			
小中学校理数科教育改善計画1	長期	1	ガーナ	2004/9/20～ 2006/9/30	(国)広島大学IDEC	なし
小中学校理数科教育改善計画2	長期	1	ガーナ	2004/9/20～ 2006/9/30	(国)広島大学IDEC	なし
理数科教育	長期	1	カンボジア	2004/9/26～ 2007/3/20	(国)岡山大学大学院教育学研究科	なし
中等理数科教育	長期	1	ケニア	2005/9/26～ 2008/4/3	(国)広島大学IDEC	なし
環境管理技術能力向上	長期	1	ベトナム	2006/9/3～ 2008/10/3	(国)広島大学IDEC	なし
長期研修 小計		5				

(2) 日系研修員受入実績

合計 6名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
遺伝子組替植物の作成と検出技術習得	日系	1	メキシコ	2006/4/10～ 2006/6/29	(国)広島大学大学院理学研究科	なし
微気象観測と樹木の導管の画像解析1	日系	1	ブラジル	2006/4/17～ 2006/7/2	(国)広島大学総合科学部	なし
微気象観測と樹木の導管の画像解析2	日系	1	ブラジル	2006/4/17～ 2006/7/2	(国)広島大学総合科学部	なし
保健医療(口腔保健学)	日系	1	ブラジル	2006/5/8～ 2007/4/22	(国)広島大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学講座	なし
大気汚染・酸性雨・地球温暖化の化学	日系	1	パラグアイ	2006/4/17～ 2007/7/1	(国)広島大学総合科学部	なし
理学療法(作業療法)による機能回復訓練	日系	1	ブラジル	2006/12/04～ 2007/2/18	広島県立身体障害者リハビリテーションセンター	ひろしま国際センター

平成18年度 研修員福利厚生事業実績

単位：人

区分	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 参加人数	
日本文化体験	茶道教室			22 17		8	11	13	29			15	19	134	
	華道教室		6	15		6	11	7	18			18	12	93	
	着付け教室		20	24	12		11		11		8	5		91	
	書道教室				2	15		9				12		38	
	日本文化体験デー							32				31		63	
	伝統芸能鑑賞				34					40		15		89	
	小計													508	
レクリエーション	バスツアー		23 宮島	39 神楽門前 湯治村			40 宮島	31 神楽門前 湯治村	29 宮島	12 宮島		27 宮島	31 宮島	232	
	カクテルパーティー				20		48	45					42	155	
	小計													387	
地域交流	ホームステイ		0			7			7			2		16	
	ホームビジット		0			7			15			24		46	
	地域行事参加					18 注4：三原市		39 注5：東広島市 38 注5：東広島市			14 注6：東広島市			109	
	国際理解講座 「HIPで世界を楽しもう！」				3		10		14			3		30	
	ボランティア相談日		10	14	15	23	10		15		11	11	8	117	
	ロビーイベント (けん玉・民謡・空手・マンドリン他)			25 25	30	20		30 20	40			30		40	260
	ミニコンサート (ピアノ・民謡・英語落語他)			30 45	23 8	27	35	24 40				60 47 26	31	396	
	ロビー展示 (池坊活花展示他)			5									4	9	
	クッキング交流		9	20		10						6		45	
	クッキング交流 (日本料理)				4		18				12			34	
	その他地域交流 (公民館、団体との交流他)							1	12					13	
小計													1,075		
総参加人数														1,970	

注1：次郎丸太鼓 東広島酒造組合次郎丸太鼓チームと長塚BoomBoomによる太鼓演奏と交流会。
 注2：さくらの会 広島さくらの会の協力により、三味線・琴・太鼓による演奏、南京玉すだれ、混声コーラス、西条酒造り歌などの民謡、炭坑節等の踊りを交え、研修員と参加者の交流を図った。
 注3：新年交流会 研修員が餅つきと正月料理の体験を通じ、ブラザ運営協力者と交流。外国の祝い料理の試食・日本の玩具・邦楽KAMOによる邦楽演奏の観賞。
 注4：三原やっさ祭り 三原やっさ祭り参加（三原ライオンズクラブからの招待）。研修員とライオンズクラブ会員が「国際交流チーム」として、浴衣姿で三原駅周辺をやっさ踊りを踊りながら練り歩いた。
 注5：西条酒まつり 西条駅前周辺で実施された「酒まつり」に研修員はハッピーを着て参加し、祭り会場や酒蔵通りの散策や御輿担ぎ行い、日本の秋祭りを体験。
 注6：御園宇小学校とんど祭り 研修員が地元(御園宇小学校)で行われるとんど祭りに参加し、地域の人たちと交流を図りながら日本の伝統行事を体験。

平成18年度 日本語研修実施実績

コース名	技術研修		日本語研修								備考
	実施機関名	受入数	集中講習	回数	時間数	受講者数	一般講習 (登録制)	回数	時間数	対象者数	
沿岸漁業の統合的な管理手法	(独)水産大学校	5	4/3~4/7	5	25	5	なし	0	0	0	
廃棄物管理総合技術	広島県環境局循環型社会推進室	7	5/22~5/25	4	20	7	第1期(実践)	10	20	7	集中講習は第3週目を実施 5/26 学校訪問
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	海外電力調査会、㈱PET	10	5/22~5/26	5	25	10	なし	0	0	0	
南東欧地域「サポーティングインダストリー育成」	広島県立大学	8	なし	0	0	0	第1期(入門)	6	12	14	CPセルビア6名 参加合計14名 日本語夜間3日 2クラス編成
養殖業の健康と安全管理	(独)水産大学校	8	6/5~6/8	4	20	8	なし	0	0	0	6/9 学校訪問
仏語圏「アフリカ」教育行政	広島大学、広島県立教育センター	8	なし	0	0	0	第2期(入門)	3	6	8	日本語夜間3日
ボスニア「平和のための教育ネットワーク構築」	広島県、広島大学	9	なし	0	0	0	第3期(入門)	3	6	9	日本語夜間3日
乾燥地水資源の開発と環境評価	鳥取大学農学部	9	7/10~7/13	4	20	9	なし	0	0	0	7/14 学校訪問
中東地域「上水道維持管理」	広島市水道局	10	7/10~7/13	4	20	10	第2期(実践)	8	16	8	8/10 キャンセル日本語夜間8日 7/14 学校訪問
フィリピン「女性企業家育成支援」	広島県、女性会議	10	なし	0	0	0	第6期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
中等科学教育実技	広島大学大学院教育学研究科	7	8/14~8/18	5	25	12	第3期(実践)	9	18	12	CPケニア5名参加 日本語夜間9日に変更
中南米地域「生活排水処理計画」	東広島市	12	8/21~8/25	5	25	12	第4期(実践)	10	20	10	日本語夜間10日
地域観光開発と持続可能な観光振興	広島県商工労働部、広島大学経済学部地域経済システム研究センター	12	9/19~9/22	4	20	13	第5期(実践)	8	16	12	日本語集中4日、集中のみベトナム 長期研修員1名参加、実践8日間
南西アジア地域「公害防止行政」	広島県環境局環境調整室	7	なし	0	0	0	第5期(入門)	10	20	7	日本語夜間10日
カンボジア「地方行政」	東広島市	10	なし	0	0	0	第4期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
イラク「火力発電」	㈱PET	10	10/30~11/2	4	20	10	なし	0	0	0	
南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」	広島大学、鳴門教育大学	10	なし	0	0	0	第7期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
社会的環境管理能力の形成と政策評価	広島大学	12	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
食品加工・保全技術	広島県立食品工業技術センター	5	1/15~1/19	5	25	5	第6期(実践)	10	20	6	CPベトナム1名 参加合計6名 日本語夜間10日
南部アフリカ地域「中小企業育成」	広島県商工労働部	9	1/15~1/19	5	25	9	第7期(実践)	10	20	9	日本語夜間10日
サブサハラ・アフリカ地域「平和構築のためのガバナンス能力強化」	広島大学	9	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	9	日本語夜間3日
アフリカ「研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	広島大学CICE、国連大学	12	なし	0	0	0	第11期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
ケニア「INSET運営管理」	広島大学IDEC、広島県立教育センター	12	なし	0	0	0	第12期(入門)	6	12	19	日本語夜間3日 2クラス編成
合計23コース		211	12コース	54	270	110	18コース	111	222	184	

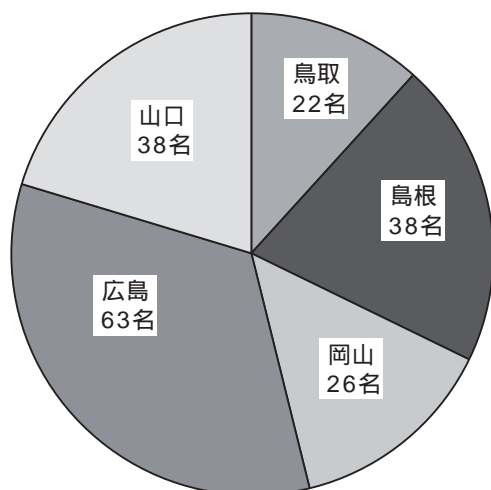
- 1 集中講習は、計25時間又は50時間コース。原則として、月曜日から金曜日の5日間(5時間/日)実施(祝祭日を除く)。
- 2 一般講習(実践コース)は、計20時間コース。原則として、火曜日から木曜日のうち週2日(2時間/日)ずつ5週間実施。ただし、受講希望者が5名以上(1コース10名程度)の場合のみコース開設。(実践コース:集中講習受講者対象)
- 3 一般講習(入門コース)は、計6時間コース。原則として、研修の第1週又は第2週に計3日間(2時間/日)実施。(入門コース:集中講習未受講者対象)
- 4 特別活動は、原則として、月曜日又は金曜日に週1日(1~2時間/日)程度実施(祝祭日及び福利厚生事業実施日等を除く)。
- 5 1クラス定員13名まで、14名以上は2クラス編成とする。
- 6 CPとはカウンターパート研修を意味する。

平成18年度 青年招へい受入実績

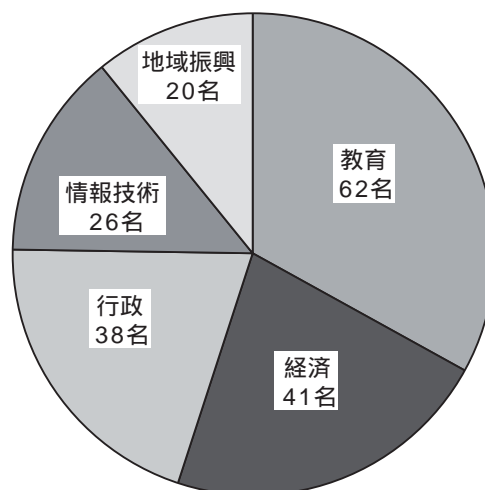
合 計： 9件
参加者数：187名

県名	国・地域名	分野	人数	受入団体	地方プログラム受入期間
山口県	太平洋混成	経済（中小企業振興）	18	世界青年徳山友の会	2006. 6.14～2006. 6.21
島根県	カンボジア	行政（地方行政）	24	国際ネットワークしまね	2006. 6.27～2006. 7. 4
鳥取県	インドネシア	教育（初中等）	22	とっとり青友会	2006. 7.10～2006. 7.18
岡山県	ベトナム	教育（教育行政）	26	津山と世界を結ぶ会	2006. 7.24～2006. 8. 1
広島県	タイ	情報技術（IT）	26	しょうばら国際交流協会	2006.11. 7～2006.11.14
島根県	アフガニスタン	行政（地域開発）	14	島根県地域国際協力連合会	2006.11.14～2006.11.21
山口県	インドネシア	地域振興（青少年活動）	20	財団法人防長青年館	2006.12. 5～2006.12.12
広島県	パキスタン	教育（教員養成2）	14	社団法人青年海外協力協会中国支部	2007. 1.22～2007. 2. 6
広島県	中央アジア	経済（中小企業振興）	23	学校法人広島Y M C A学園	2007. 2.13～2007. 2.20

H18年度 青年招へい受入実績：県別受入人数



H18年度 青年招へい受入実績：分野別受入人数



平成18年度 海外ボランティア新規派遣実績

(1) 青年海外協力隊新規派遣実績

合計 72名

県名	派遣国	職種	県名	派遣国	職種
鳥取 7名	ニジェール	青少年活動	広島 13名	ホンジュラス	エイズ対策
	ウガンダ	村落開発普及員		マラウイ	看護師
	トンガ	PCインストラクター		ルワンダ	村落開発普及員
	タイ	作業療法士		タンザニア	コンピューター技術
	ブルキナファソ	植林		タンザニア	村落開発普及員
	フィリピン	陶磁器		ジンバブエ	測量
	バングラデシュ	感染症対策		フィリピン	家畜飼育
島根 13名	中華人民共和国	日本語教師		ザンビア	サッカー
	ガーナ	理数科教師		サモア	理数科教師
	コロンビア	音楽		ベトナム	理学療法士
	ホンジュラス	小学校教諭		ポリビア	村落開発普及員
	セントルシア	小学校教諭		ジャマイカ	エイズ対策
	グアテマラ	小学校教諭		マーシャル	日本語教師
	ブータン	コンピューター技術	山口 15名	ヨルダン	保健師
	モンゴル	理数科教師		タンザニア	土木
	ジブチ	婦人子供服		ホンジュラス	小学校教諭
	タンザニア	コンピューター技術		セントビンセント	青少年活動
	パラグアイ	小学校教諭		セントビンセント	環境教育
	パプアニューギニア	村落開発普及員		パラオ	小学校教諭
	パナマ	助産師		ガーナ	理数科教師
	岡山 24名	マレーシア		組織培養	マラウイ
タイ		日本語教師		バングラデシュ	村落開発普及員
マラウイ		果樹		インドネシア	料理
タンザニア		看護師		ニジェール	保健師
パプアニューギニア		理数科教師		ベリーズ	PCインストラクター
カメルーン		小学校教諭		セントルシア	コンピューター技術
セネガル		村落開発普及員		ラオス	養殖
タンザニア		幼稚園教諭	中華人民共和国	日本語教師	
カンボジア		理数科教師			
マーシャル		体育			
ブータン		養護			
ブルキナファソ		村落開発普及員			
ジンバブエ		体育			
コスタリカ		観光業			
トンガ		珠算			
スリランカ		コンピューター技術			
スリランカ		村落開発普及員			
ベトナム		村落開発普及員			
チュニジア		作業療法士			
中華人民共和国		看護師			
ネパール		養護			
ベトナム		看護師			
グアテマラ		看護師			
ベネズエラ		村落開発普及員			

青年海外協力隊：一般隊員他、一般短期（緊急）隊員、シニア隊員、シニア隊員緊急派遣、調整員、調整員短期を含む。

(2) シニア海外ボランティア新規派遣実績

合計 13名

県名	派遣国	指導科目
鳥 取 2名	トンガ	情報・広報
	マーシャル	教育
島 根 2名	サモア	畜産
	カンボジア	社会福祉
岡 山 3名	マレーシア	情報・広報
	エジプト	社会福祉
	グアテマラ	総合・地域開発計画
広 島 3名	中華人民共和国	都市計画・土地造成
	ザンビア	機械工業
	パナマ	教育
山 口 3名	アルゼンチン	環境問題
	ホンジュラス	文化
	フィジー	水産加工

(3) 日系社会青年ボランティア新規派遣実績

合計 3名

県名	派遣国	職種
岡 山	ブラジル	日本語教師
	ブラジル	日本語教師
	ブラジル	野球

(4) 日系社会シニアボランティア新規派遣実績

合計 1名

県名	派遣国	指導科目
鳥 取	ブラジル	庭園技師

平成18年度 草の根技術協力事業実績

(草の根協力支援型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
パラオ共和国	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	日本パラオ協会	2005.11. 1～2008.10.31
インドネシア	エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	特定非営利活動法人 三瓶スラウェシ友好促進センター	2006. 4. 5～2009. 3.31

(草の根パートナー型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
スリランカ	ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業	特定非営利活動法人 アムダ	2004. 5. 1～2006. 6.30
ミャンマー	コーカン特別地域プライマリーヘルスケアプロジェクト	特定非営利活動法人 アムダ	2004.10. 1～2006. 8.31
中華人民共和国	岡山 - 上海高齢者介護教員養成センター	社会福祉法人 旭川荘	2005. 4.15～2008. 3.31
ザンビア	ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト	特定非営利活動法人 アムダ	2005. 7. 1～2007.12.31
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	2006. 2. 1～2008. 7.31

(地域提案型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
カンボジア	カンボジア元気な学校プロジェクト	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	2005.11. 1～2008. 3.31
中華人民共和国	威海市個別研修 「環境保全パートナーシップコース」	宇部環境国際協力協会	2006. 2.20～2008. 3.31
中華人民共和国	重慶市との環境保全交流事業	広島市	2006. 9.11～2007. 3.31
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取県立総合療育センター	2006.10.16～2009. 3.31

平成18年度 国際協力キャンペーン/市民講座実績

参加者総数： 24,132名

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
鳥取県	鳥取市	世界難民の日 絵画写真展示会	6月20-30日	鳥取県立県民文化会館	難民支援団体ピースバード		一般市民	700
	鳥取市	国際交流・貢献セミナー	7月8日	鳥取市国際交流プラザ	鳥取大学（鳥取大学国際交流センター）		大学生、一般市民	50
	倉吉市	鳥取県国際理解教育研究会	7月29日	伯耆しあわせの郷	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会	教育関係者、国際理解教育に関心のある方	38
	鳥取市	乾燥地科学と砂漠化対処に関する国際会議	8月27-28日	鳥取県民文化会館	鳥取大学、鳥取県、国連砂漠化対処条約事務局		一般市民	300
	米子市	国際理解セミナー	11月12日	米子市文化ホール	鳥取県国際交流財団	鳥取県、鳥取県教育委員会	一般市民	21
	鳥取市	国際理解セミナー	1月21日	鳥取県民文化会館	鳥取県国際交流財団	鳥取県、鳥取県教育委員会	一般市民	22
	鳥取市	タイムセミナー	3月21日	鳥取県民文化会館	タイム（とっとり国際交流連絡会）		一般市民	150
島根県	松江市	地球時代の学び 実践研究会夏季研修会	8月11日	タウンプラザしまね	島根県国際理解教育研究会		教育関係者、国際理解教育に関心のある方	60
	松江市	地域国際理解推進事業「多文化共生フォーラム」	12月23日	くにびきメッセ	しまね国際センター、島根県、松江市、松江市国際交流協会		一般市民	132
	松江市	JICAボランティア帰国報告会	12月23日	くにびきメッセ	島根県	しまね国際センター、島根県青年海外協力隊協会	一般市民	50
	松江市	地域国際理解推進事業「多文化共生講座」	2月10日	松江市国際交流会館	しまね国際センター、島根県、松江市、松江市国際交流協会		一般市民	11
	斐川町	JICAボランティア帰国報告会	3月6日	出雲コンピュータ専門学校	島根県、斐川町、出雲コンピュータ専門学校	しまね国際センター、島根県青年海外協力隊協会	一般市民	60
岡山県	倉敷市	世界の人々の生活と日本の国際協力	6月10日	ライフパーク倉敷	倉敷市国際交流協会		一般市民	62
	岡山市	インターナショナルサロン	6月17日	岡山国際交流センター	岡山県国際交流協会		一般市民	18
			1月20日					26
	岡山市	地球市民講座「中央アジアとロシア編」	6月21日	岡山国際交流センター	岡山県国際交流協会		一般市民	76
			6月28日					69
			10月4日					65
			10月11日					64
	岡山市	「東南アジア編」	2月7日					100
			2月14日					72
	倉敷市	倉敷市国際理解講座「どうなってるの？世界の国々？」	8月4日	ひろしま国際プラザ	倉敷市国際交流協会	倉敷市	小学生およびその保護者	38
倉敷市	世界の子どもの絵画展開催事業	10月1-2日	イオン倉敷ショッピングセンター	岡山県		一般市民	11,000	
岡山市	おかやまESD国際ワークショップ&セミナー	10月13-15日	岡山大学	特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会	外務省、文部科学省、環境省、岡山県、岡山市、倉敷市、ACCU、日本ユネスコ協会連盟、日本ユネスコ協会、教育委員会（岡山県、岡山市、倉敷市）、岡山県国際交流協会、岡山県社会福祉協議会、岡山市社会福祉協議会、岡山商工会議所、岡山経済同友会、倉敷商工会議所、岡山県医師会、岡山県教職員組合他	一般市民	500	
岡山市	地球市民フェスタinおかやま2006	10月28-29日	岡山国際交流センター	岡山県、岡山県国際交流協会、（特活）岡山県国際団体協議会	岡山県教育委員会	一般市民	2,000	
		10月29日	岡山国際交流センター	岡山県国際貢献推進協議会		岡山県国際貢献推進協議会員	50	
岡山市	国際貢献・協力フェア（国際貢献NGOフェア）	2月8日～4月25日	岡山国際交流センター	岡山県国際交流協会（特活）岡山県国際団体協議会		一般市民	550	
広島県	東広島市	東広島市生涯学習大学システム「JICA市民講座」	4月20日	ひろしま国際プラザ	東広島市		高校生以上の一般市民	13
			5月20日	酒泉館				21
			6月22日	ひろしま国際プラザ				7
			10月28日	酒泉館				12
		11月9日	ひろしま国際プラザ	14				
	福山市	国際協力担い手養成講座	6月23日	福山市しんいち市民交流センター	平和貢献NGO'sひろしま	広島県、福山市教育委員会、さるかに共和国、新市町美術新興町民会議、しんいち学区まちづくり推進委員会	大学生、一般市民	80
東広島市	中国地区開発教育担い手スキルアップ連続講座	7月1-2日	ひろしま国際プラザ	地球市民共育塾ひろしま	NPO法人開発教育協会	開発教育/国際理解教育・国際協力関連領域のキーパーソン	34	
12月2-3日			30					
広島市		2月3日	ひろしま留学生会館				34	

(前項に続く)

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
広島県	広島市	国際協力担い手養成講座	9月9日	広島市まちづくり市民交流プラザ	平和貢献NGO'sひろしま、広島市ひと・まちネットワーク	広島県、広島市教育委員会、広島平和文化センター	国際協力事業に関心の高い方	158
			9月16日					
			9月23日					
			9月30日					
	東広島市	酒まつり「ひろしま国際ひろば」	10月7-8日	西条駅周辺			一般市民	820
	東広島市	広島県立尾道東高等学校 JICA合宿	10月19-20日	ひろしま国際プラザ	広島県立尾道東高等学校		広島県立尾道東高校2年生	41
	東広島市	ひろしま国際プラザ施設公開	10月27日	ひろしま国際プラザ			一般市民	126
	東広島市	国際理解講座(体験しよう!「世界がもし100人の村だったら」)	11月4日	東広島運動公園体育館	東広島市国際化推進協議会		小学生~大人	67
	東広島市	東広島市生涯学習大学システム「市民講座」	11月15日	近畿大学工学部メディアセンター	東広島市教育委員会		大学生、一般市民	150
	広島市	国際交流・協力の日	11月19日	広島国際会議場	ひろしま国際センター、広島市、広島平和文化センター	広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、広島市PTA協議会、広島県高等学校PTA連合会、広島県私立中等高等学校教育後援会	一般市民	5,400
	尾道市	御調中高国際交流セミナー	11月23日	尾道市立御調中学校	尾道市立御調中学校 広島県立御調高等学校		御調中学校、御調高等学校生徒	102
	広島市	平和貢献人材育成事業「国際理解セミナー」	12月13日	広島修道大学	ひろしま国際センター、広島修道大学国際交流センター、広島修道大学国際交流サークル		広島修道大学学生・教職員	35
			12月14日	広島経済大学	ひろしま国際センター、広島経済大学国際交流室、広島経済大学国際交流サークル		広島経済大学学生・教職員	35
			2月4日	ひろしま国際センター	ひろしま国際センター		開発教育に関心のある方、カンボジアスタディツアー参加者	21
3月11日			カンボジア支援に関わりのある方、カンボジアスタディツアー参加者			23		
広島市	平和貢献人材育成事業「スタディツアー」	2月19-26日	カンボジア	ひろしま国際センター	広島県(協力)	18歳以上の広島県民	13	
山口県	山口市	農村開発と地域おこし「やまぐち」から広がる国際協力	6月10-11日	山口大学学生会館大ホール	山口大学 大学院東アジア研究科、経済学部、東アジアコラボ研究推進体	山口県、山口大学、山口大学エクステンションセンター	一般市民、国際開発学会会員	188
	宇部市	現在そして10年後の国際協力を担う人材育成講座	6月18日	山口大学医学部	山口大学医学部国際医療研究会	山口県国際交流協会、山口大学医学部	高校生、大学生、一般市民	34
			7月9日					48
	山口市	国際理解推進サポーター養成講座(入門編)	6月24日	山口県国際交流協会 大会議室	山口県国際交流協会	山口県、山口市、山口県教育委員会、山口市教育委員会	一般市民	35
			7月29日					26
			8月19日					16
	山口市	山口県国際理解教育研究大会	8月25日	セントコア山口	山口県国際理解教育研究会	山口県教育委員会、山口市教育委員会、山口県国際交流協会	教員、一般市民	69
	山口市	国際理解推進サポーター養成講座(スキルアップ編)	10月8日	山口県国際交流協会	山口県国際交流協会	山口県、山口市、山口県教育委員会、山口市教育委員会	一般市民	22
			10月22日					19
			12月3日					27
	山口市	環境共育塾・地域の環境から地球規模の環境まで	10月15日	セミナーパーク	防長青年館		一般市民	25
萩市	国際理解推進講座	10月28日	萩市民館	山口県国際交流協会	山口県、萩市、山口県教育委員会、萩市教育委員会、萩市国際交流協議会	一般市民(小学生以上)	3	
山口市	国際協力理解参加促進講座「古今東西国際協力トークマッチ」	12月10日	バルトピアやまぐち	山口県国際協力を育てる会	山口県、山口市、山口県国際交流協会	中学生以上の一般市民	50	
宇部市	環境国際セミナー	2月13日	宇部市文化会館	宇部環境国際協力協会、宇部市		宇部市民	50	

平成18年度 国際協力出前講座実績

実施総回数： 171件
参加者総数： 14,964名

実施日	県名	派遣依頼団体（ ）内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
4月4日	山口県	ラボ教育センター 春のリーダー養成合宿実行委員会（国立山口徳地青少年自然の家）	小学校高学年~高校生	120	実際に国際協力を経験してきた方の実体験を聞くことで、交流だけではない世界との関わり方を子供達に知ってもらふ。	国際協力推進員	磯村祐子
4月13日	山口県	山口大学開発研究会（山口大学経済学部）	大学生、大学院生	20	セネガルの地理的状況、日本との関係	国際協力推進員	鈴木博子
4月16日	山口県	ラボ教育センター（山口県新町東公民館）	小学3年生~一般市民	55	開発教育ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	磯村祐子
4月16日	鳥取県	鳥取大学医学部国際保健友の会「ハクナマタタ」（鳥取大学医学部）	医学部学生	30	中国の医療の現状、学生の実習内容、教材作成方法	協力隊OV	安部由紀
4月19日	山口県	山口県立大学、山口大学ユネスコクラブ（山口大学）	大学生	20	フェアトレード、環境・開発・平和	協力隊OV	高見早苗
4月20日	山口県	山口大学東アジア研究会（山口大学経済学部）	大学生、大学院生、社会人	20	セネガルでの活動体験談を通じた現地の事情を理解	国際協力推進員	鈴木博子
4月22日	岡山県	ラボ教育センター（倉敷市立玉島図書館）	小学生~中学生	30	海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	藤本裕美 梶田三佐江
4月24日	岡山県	川崎医療福祉大学	大学1年生	230	ボランティア入門	国際協力推進員	白築健
4月25日	鳥取県	鳥取大学医学部国際保健友の会「ハクナマタタ」（鳥取大学米子キャンパス）	医学部学生	25	JICA事業、青年海外協力隊の活動	協力隊OV 国際協力推進員	大坪千智 長富邦恵
4月26日	岡山県	笠岡国際交流協会（笠岡市市民活動支援センター）	高校生以上の市民	30	JICA事業、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
5月9日	広島県	広島インターナショナルスクール	小学5~6年生	20	JICA事業、貧困・飢饉	協力隊OV	内田豊海
5月17日	広島県	福山市立済美中学校	中学3年生	134	海外ボランティア体験談を通して自己の生き方を探求	協力隊OV	皿海博信
5月18日	広島県	広島女学院大学	大学2年生	60	ボランティアについての基礎知識や心構え	JICA職員	木梨陽子
5月20日	岡山県	和気町国際交流協会（和気町総合福祉センター）	和気町国際交流協会会員	30	文化・風習の違いを知り、国際理解を深める。	協力隊OV	万代ユミ
5月22日	広島県	如水館高等学校	高校1~3年生	969	創立記念式典記念講演。開発途上国の子供達の姿と青年海外協力隊の活動から国際協力の必要性を知り、自分達でできるボランティアについて考える。	国際協力推進員	白築健
5月24日	岡山県	岡山県立岡山操山高等学校	高校1年生	186	「未来航路プロジェクト」の一環として、国際協力とは何かを考える。	協力隊OV	藤本裕美
5月25日	広島県	広島女学院大学	大学2年生	60	ボランティアについての基礎知識や心構え	協力隊OV	西守由紀子
5月26日	広島県	広島県立呉昭和高等学校	高校1~2年生	184	「職業探求」をテーマに、職業を通して社会に貢献する事についての講演。	協力隊OV	山城亮介
5月27日	広島県	広島文教女子大学	大学3~4年生	15	「国際協力論」国際協力の現場の問題	協力隊OV	八杉和子
6月1日	岡山県	岡山市立平福小学校	小学6年生	101	自分に出来る国際協力実践、世界の子供達のくらしの現実や国際支援に取り組んでいる団体の活動を知る。	協力隊OV	永田晶子
6月13日	広島県	広島市立五日市小学校	小学5年生	134	世界には様々な国がある事を知り、世界の為に自分達に何が出来るかを考える。	国際協力推進員	白築健
6月13日	山口県	山口県立下関南高等学校	高校2年生	153	海外ボランティア体験談（参加理由、海外生活、帰国後の変化）ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
6月16日	広島県	広島市立祇園中学校	中学3年生、保護者	240	国際理解と共生のオリエンテーション	国際協力推進員	磯村祐子 白築健
6月22日	鳥取県	琴浦町立浦安小学校	小学4年生	47	総合的な学習：テーマ「夢に向かって」~働く喜び~	協力隊OV	佐々木由希
6月22日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学6年生	76	海外ボランティア体験談、原爆展の様子を聞き、平和について考える。	協力隊OV	小坂法美
6月22日	山口県	岩国市立祖生西小学校	保育所職員、小中学校教員、公民館職員他	30	「地域から見た人権、世界から見た人権」国際社会にも通用する人権感覚を養う。	協力隊OV	高見早苗
6月25日	岡山県	日本ユニセフ協会岡山県支部（NHKデジタルミュージアム講堂）	一般市民	50	11月開催のアフリカ写真展を前に、アフリカ支援について学習。	国際協力推進員	梶田三佐江
6月26日	奈良県	天理大学	大学2~4年生	140	現代世界が抱える諸問題、それに対してどのように向かい合っていくべきか自己の生き方を見つめる。	国際協力推進員	梶田三佐江
6月28日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	100	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」（JICA中国施設見学に向けての事前学習）	国際協力推進員	磯村祐子
6月30日	岡山県	岡山県立玉野高等学校	高校1年生（国際科）	40	「国際ボランティアについて考える」日本の国際貢献、ボランティアの実際とそのあり方についての理解・考えを深める。	協力隊OV	朝西英文

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
6月30日	広島県	尾道市立長江中学校	中学生(総合的な学習で「国際理解」選択者)	30	総合的な学習「国際理解講座」メキシコで活動したOVの話聞き、事前学習で用意した質問をする。日本理解と異文化理解を考える。	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
7月3日	島根県	奥出雲町国際交流協会(雲州そろばん伝統産業会館)	一般市民	60	JICA事業、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
7月4日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学1~6年生	400	海外ボランティア体験談、原爆展の様子を聞き、平和について考える。	協力隊OV	小坂法美
7月5日	広島県	広島県立西条養護学校	小学部1年生~高等部3年生	52	海外の人々から見た日本、世界の平和を築くために。	国際協力推進員	磯村祐子
7月6日	島根県	出雲市立湖陵中学校	中学3年生	58	総合学習テーマ「ボランティア海外ボランティア体験談」	協力隊OV	岸幹人
7月6日	広島県	広島市立大学	大学生、大学院生	50	キャリア形成セミナー(国際的な分野での活動・行動のきっかけとする)	協力隊OV 国際協力推進員	茶山和恵 磯村祐子
7月6日	鳥取県	鳥取大学IFAサークル(鳥取大学)	IFAサークルメンバー	30	JICA事業、青年海外協力隊の活動	協力隊OV	佐々木由希
7月10日	鳥取県	三朝町立西小学校	小学6年生	50	総合的な学習「社会を支える人々から学ぼう~みんなと生きる・よりよく生きる~」	協力隊OV	佐々木由希
7月13日	広島県	広島市立嶋町小学校	小学2年生	72	海外ボランティア体験談	協力隊OV	小坂法美
7月13日	広島県	三原市立幸崎中学校	中学生全校生徒	100	海外ボランティア体験談	協力隊OV	奥田麻衣
7月14日	広島県	竹原市立賀茂川中学校	中学3年生	34	プータンでの海外ボランティア体験談	協力隊OV	小長谷雅子
7月15日	広島県	地球市民共育塾ひろしま(広島平和文化センター)	学生・社会人	20	原爆展の経験談やその様子	協力隊OV	小坂法美
7月20日	岡山県	岡山県高等学校女子保健体育科教員有志の会(岡山県立鳥城高等学校)	岡山県内高等学校の女子保健体育科教員	30	海外ボランティア体験談	協力隊OV	山谷裕美 上村弘子
7月21日	島根県	シマネスクくにびき学園(いきいきプラザ島根)	シマネスクくにびき学園会員	114	「国際協力について知ろう」高齢者がさらに幅広い知識を身につけ、生きがいを得るとともに、社会貢献のための資質向上を目指す講座	日系社会シニアボランティアOV 国際協力推進員	荒木澄夫 長富邦恵
7月25日	広島県	福山市教育委員会(福山市研修センター)	福山市立小学校および中学校教諭	46	JICA事業、ワークショップ「貿易ゲーム「レヌカの学び」」	国際協力推進員	梶田三佐江 白築健
8月2日	岡山県	西大寺中学校区保幼小中人権同和教育推進協議会(西大寺ふれあいセンター)	教職員	100	海外ボランティア体験談：人権について	国際協力推進員	梶田三佐江
8月8日	岡山県	岡山県国際交流協会(岡山国際交流センター)	岡山県国際交流協会運営委員	30	いろんな国についての見聞を広めるための講演	国際協力推進員	梶田三佐江
8月9日	岡山県	倉敷市立中央図書館	小学3年生以上	30	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	協力隊OV 国際協力推進員	山谷裕美 梶田三佐江
8月10日	岡山県	岡山県企画振興部国際課(岡山国際交流センター)	高校生	6	カンボジアスタディツアー事前学習	国際協力推進員	梶田三佐江
8月22日	広島県	広島大学生物圏科学研究科	大学生・院生・教職員	60	乾燥地農業の実態と活性化を目指したJICAの協力	JICA国際協力専門員	中林一夫
8月24日	広島県	呉市立川尻中学校	中学3年生	99	海外ボランティア体験談	協力隊OV	池田尚子 平野泰子 出崎直美
9月4日	広島県	広島市立祇園東中学校	中学3年生	150	総合的な学習「国際理解」：共に生きる平和な社会をめざして	国際協力推進員	磯村祐子
9月10日	島根県	ラボ教育センター(さんびーの出雲)	幼児~大人	60	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	長富邦恵 磯村祐子
9月18日	島根県	島根県文化国際課(島根県職員会館)	大学生、社会人	10	島根県「2006青年交流の翼・中国プログラム」事後研修において国際交流団体の活動紹介および意見交換会	国際協力推進員	長富邦恵
9月20日	広島県	東広島市立高美が丘小学校	小学6年生	172	総合的な学習「国際理解」海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティアOV 協力隊OV	奥田麻衣 藤島一枝
9月22日	広島県	府中市上下公民館	老人大学受講生	70	老人大学での講演、志望動機、現地での活動体験談、当時は振り返って。	協力隊OV	細川光宜
9月25日	岡山県	倉敷市立南中学校	中学1年生	280	「せかいのなかま」海外の国の生活・文化・考え方	協力隊OV	松下幸司
9月26日	島根県	島根県立大社高等学校	高校1年生(普通科、体育科)	14	総合的な学習「自分の生き方や働き方について考える」	協力隊OV	桑野香奈
9月26日	島根県	海士町立海士小学校	小学1~6年生、保護者	50	カンボジアでの海外ボランティア体験談	シニア海外ボランティアOV	坂田優子
9月26日	島根県	西ノ島町国際交流協会(西ノ島町商工会)	中学生	75	講演テーマ「身近に感じる国際協力」	国際協力推進員	長富邦恵
9月28日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学2年生	14	選択授業(英語)の時間において国際理解学習。フォトランゲージキット使用。	国際協力推進員	花岡潤
9月29日	岡山県	岡山県立勝山高等学校	高校2年生(普通科、商業科)	159	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」海外ボランティア体験談	協力隊OV	岡本俊則 三村良平 錦織拓美
9月29日	岡山県	岡山県立日本原高等学校	高校3年生	50	世界の文化の多様性と日本との違いや共通点	国際協力推進員	梶田三佐江
9月29日	広島県	広島市立城南中学校	中学3年生	222	バブアニューギニアの話	協力隊OV	榎本伸悦

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
10月2日	鳥根県	奥出雲町立横田中学校	中学生	26	バングラデシュでの協力隊体験談	国際協力推進員	長富邦恵
10月2日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学1年生	120	アクティビティ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	花岡潤
10月2日	山口県	宇部市立藤山中学校	中学3年生	118	「私たちにできるボランティア活動」国際協力・支援をテーマにした内容	協力隊OV	水野雅子
10月3日	鳥根県	シマネスクくにびき学園西部校(いわみーる)	60歳以上の高齢者	55	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
10月4日	広島県	広島県立御調高等学校	高校1年生	55	海外ボランティア体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	白築健
10月6日	山口県	山口県立西京高等学校	高校1年生	20	さまざまな方面で活躍されている方々の職業観	協力隊OV	高見早苗
10月10日	広島県	東広島市高屋地区民生委員児童委員協議会(高屋福祉センター)	民生委員、児童委員協議会の委員	38	海外ボランティア体験談(特に福祉分野)	協力隊OV	米澤みさお
10月12日	鳥根県	出雲市立浜山中学校	中学1年生	37	参加型アクティビティ	国際協力推進員	長富邦恵
10月13日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校2年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	塩飽康利、村上朋子、谷智仁、笹辺一雄
10月13日	山口県	山口市立平川中学校	中学1年生	17	総合講座「国際理解」:海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
10月22日	岡山県	津山国際交流の会(鏡野町ベスタロッヂ館)	一般市民	50	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	荻野晃子
10月24日	広島県	広島市立東原中学校	中学3年生と保護者	200	国際文通週間にちなみ海外ボランティアの話を知る。	日系社会青年ボランティアOV 国際協力推進員	奥田麻衣 磯村祐子
10月27日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校2年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	村上朋子、万代ユミ、崎谷由紀子、塩飽康利
10月27日	山口県	下関市教育委員会(下関市立川中公民館)	下関市立各小・中・高等学校教員	30	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
10月30日	鳥取県	鳥取市立国府東小学校	小学6年生	21	海外ボランティア体験談:動機、活動内容、任国の暮らし	協力隊OV	佐々木由希
10月31日	広島県	広島市立清和中学校	中学3年生	36	JICAの活動(海外文通のきっかけ作り)	協力隊OV	浜部直樹
11月1日	鳥根県	松江市立湖南中学校	中学3年生	35	子どもたちの生活や日本の援助の様子(外国人の方々の生活を知る)	国際協力推進員	長富邦恵
11月5日	鳥取県	タイム(とっとり国際交流連絡会)(鳥取県民文化会館)	一般市民	27	ラオスの国事情	協力隊OV	佐々木由希
11月6日	岡山県	岡山県立岡山南高等学校	高校3年生(家政科で「食文化」選択者)	25	テーマ「食文化」民族による食事の違い、宗教による食習慣を理解し、異文化の食生活に関心を持たせる。	国際協力推進員	梶田三佐江
11月7日	山口県	平生町立平生中学校	中学3年生	108	異文化理解	国際協力推進員	鈴木博子
11月8日	岡山県	岡山県立総社南高等学校	高校2年生(国際系)	79	国際理解教育:海外ボランティア体験談(国際協力、任国の様子)	協力隊OV	小林勉
11月8日	鳥根県	松江市立湖南中学校	中学3年生	35	ワークショップ「世界が35人の村だったら」	国際協力推進員	長富邦恵
11月8日	広島県	広島市立口田東小学校	小学6年生、保護者	102	国際理解ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
11月9日	鳥根県	浜田ロータリークラブ(浜田ニューキャッスルホテル)	ロータリークラブ会員	58	JICA事業、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
11月9日	広島県	広島市立翠町中学校	中学1年生	30	働くことの意義や自分の生き方について考える。	国際協力推進員	磯村祐子
11月10日	鳥根県	鳥根県立出雲農林高等学校	高校生	10	農業祭りのために途上国のことや料理を学ぶ。	国際協力推進員	長富邦恵
11月11日	広島県	広島市立温品小学校	小学6年生、保護者	131	海外ボランティア体験談(参観日)	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
11月11日	鳥根県	出雲市立多伎中学校	中学生	10	文化祭での体験活動「国際理解」における講演	協力隊OV	桑野香奈
11月11日	鳥根県	インターアクトクラブ(旅館三好家)	高校1~2年生	50	参加型アクティビティ	協力隊OV 国際協力推進員	斉藤徳義 長富邦恵
11月12日	山口県	小さな親切運動由宇町支部(由宇町文化会館)	一般市民	70	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
11月13日	岡山県	倉敷市立乙島小学校	小学4年生	92	タンザニアの様子:衣装、食べ物、踊り	国際協力推進員	梶田三佐江
11月14日	山口県	嘉川地区老人クラブ連合会(嘉川公民館)	老人クラブ会員	75	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
11月15日	岡山県	岡山県立新見高等学校	高校1~2年生	231	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
11月16日	広島県	呉市立呉高等学校	高校1年生	160	「生きがい講演会」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	白築健
11月16日	広島県	広島県立賀茂高等学校	高校1年生	25	JICA事業	JICA職員	木梨陽子
11月16日	岡山県	岡山市立岡北中学校	中学3年生	168	国際交流講座	国際協力推進員	梶田三佐江
11月17日	岡山県	岡山市立高島中学校	中学3年生	190	海外ボランティア体験談	協力隊OV	蜂谷久美子
11月17日	山口県	周南市立秋月中学校	中学生、保護者	240	テーマ「共生」:人権教育の授業参観にて	協力隊OV	水野雅子

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
11月18日	鳥取県	倉吉北高校インターアクトクラブ (伯耆しあわせの郷)	インターアクト部員	48	アクティビティ「世界がもし100人の村だったら」 ワークショップ「もし青年海外協力隊員だったら」 海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	佐々木由希 橋大亮 高島博子 花岡潤 長富邦恵
11月21日	島根県	島根大学教育学部附属中学校	中学1年生	20	総合的な学習テーマ「さまざまな生き方を学ぶ」	国際協力推進員	長富邦恵
11月22日	広島県	呉東ロータリークラブ (シティプラザSUGIYA)	ロータリークラブ会員	53	途上国における「清潔な水」の不足についての情報、またそれに対するJICAの支援および成果。	協力隊OV	佐上裕俊
11月22日	岡山県	岡山県立御津高等学校	高校1年生	160	海外ボランティア体験談	協力隊OV	三村良平
11月22日	山口県	周防大島町立三浦小学校	教職員	11	国際理解教育の校内研修：参加型アクティビティ、外国事情	協力隊OV 国際協力推進員	高見早苗 鈴木博子
11月24日	島根県	松江市立城北小学校	小学6年生	108	体験総合活動「レッツチャレンジ 国際協力!」	協力隊OV 国際協力推進員	池田潤 長富邦恵
11月24日	山口県	下関市立豊浦小学校	小学2年生、保護者	45	グローバルな視野となるための低学年用ファーストステップな話題	国際協力推進員	鈴木博子
11月28日	広島県	福山市立明王台小学校	小学6年生	84	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	白築健
11月29日	広島県	広島県立府中東高等学校	高校3年生	215	社会人講演会「広い視野と人生の生きがい」	協力隊OV	藤井富美
11月30日	島根県	日本語ボランティアグループ「だんだん」(島根県立青少年の家サンレイク)	日本語講師	15	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
11月30日	広島県	ノートルダム清心中学校	中学2年生	182	国際社会に貢献する意欲を高める。異文化の相互理解を通じ、支えあう心を育む。	協力隊OV 国際協力推進員	石田真実 内田豊海 磯村祐子 白築健
12月1日	岡山県	倉敷市立玉島高等学校	高校生	40	総合的な学習における国際理解教育	国際協力推進員	梶田三佐江
12月3日	島根県	パングラデシユ女子学生支援チャリティ実行委員会(ウィーナス・ガーデン)	成人	70	パングラデシユの就学事情	国際協力推進員	長富邦恵
12月5日	岡山県	岡山市立豊小学校	小学6年生	60	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
12月5日	山口県	宇部市立琴芝小学校	小学5年生	73	世界の米作り	協力隊OV	荒瀬澄枝
12月7日	岡山県	岡山県高等学校教育研究会人権・同和教育部会備中支部(国民宿舎良真荘)	高校教員	55	開発途上国の教育事情	国際協力推進員	梶田三佐江
12月7日	山口県	周防大島町立三浦小学校	小学3年生	11	セネガルの暮らしや文化	国際協力推進員	鈴木博子
12月8日	鳥取県	鳥取市立高草中学校	中学1~3年生	23	キャリア教育のための講演：海外ボランティア体験談	協力隊OV	久保貴史
12月13日	岡山県	倉敷市立船越中学校	高校生	228	主体的に社会に参加・貢献する事の重要性を理解する。	国際協力推進員	梶田三佐江
12月13日	広島県	広島修道大学人間環境学部	大学1~3年生	65	「環境スペシャリスト養成講座」環境分野におけるキャリア形成	協力隊OV	上田文枝
12月15日	広島県	広島市立久地南小学校	小学6年生	43	「ガーナを知ろう」ガーナの生活(住居、服装、食事、言葉)とガーナへの援助について学ぶ。	JICA職員	澁谷和朗
12月18日	岡山県	ノートルダム清心女子大学	大学1年生	230	「ボランティア学」国際ボランティア体験談	協力隊OV	村上朋子
12月21日	広島県	広島市立大塚小学校	小学6年生	152	海外ボランティア体験談	協力隊OV	平野泰子
12月21日	山口県	山口県立大学	大学生	36	「国際援助論」の一環としての青年海外協力隊体験談	協力隊OV	高見早苗
12月21日	鳥取県	鳥取市立福部中学校	中学1~3年生	15	「福部中生き方セミナー」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	花岡潤
1月12日	岡山県	岡山大学大学院社会文化科学研究科(法学部)	大学2~4年生	45	「国際機構法」授業の一環としての海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
1月12日	広島県	広島県立神辺高等学校	高校1年生	125	JICA事業、ODA事業	JICA職員	澁谷和朗
1月16日	広島県	庄原市立高野中学校	中学3年生	20	海外ボランティア体験談：自分達にできること、真の協力で調和	協力隊OV	小林努
1月17日	岡山県	倉敷高等学校	高校2~3年生(ビジネス系、国際文化系)	50	海外ボランティア体験談：なぜ国際協力が必要なのか。	協力隊OV	高橋和芳
1月18日	広島県	福山市立大谷台小学校	小学3~6年生	115	海外ボランティア体験談	協力隊OV	石井壮
1月19日	広島県	広島県立神辺高等学校	高校1年生	102	「産業社会と人間」海外ボランティア体験談	協力隊OV 国際協力推進員	羽熊広太、山城亮介、大木健一、鈴木智昇、安田真記 白築健
1月21日	山口県	ラボ教育センター角田パーティ(光青年の家)	8~18歳、その保護者	100	海外ボランティア体験談、開発教育ワークショップ	国際協力推進員	鈴木博子
1月23日	山口県	山口市立二島小学校	小学5年生	22	児童労働の実態、フェアトレードについてと試食	協力隊OV	高見早苗
1月25日	広島県	廿日市中学校	中学1年生	163	「異文化理解講座」海外ボランティア体験談	協力隊OV	東英伸
1月26日	岡山県	岡山県立玉野高等学校	高校1~2年生	80	JICA事業、ワークショップ	国際協力推進員	梶田三佐江

(前項に続く)

実施日	県名	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
1月30日	岡山県	岡山県立備前緑陽高等学校	高校1年生	160	「産業社会と人間」で海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
1月30日	鳥根県	安来市立伯太中学校	中学3年生	44	社会科公民分野「国際問題と地域市民」	国際協力推進員	長富邦恵
1月30日	広島県	広島市立梅林小学校	小学6年生	123	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」	国際協力推進員	磯村祐子
2月2日	鳥根県	松江市立古志原小学校	小学5年生	130	バングラデシュの生活、言語、子どもたちの暮らし、学校生活	国際協力推進員	長富邦恵
2月6日	鳥取県	伯耆町立岸本小学校	小学4年生	59	バングラデシュの文化や生活	国際協力推進員	長富邦恵
2月6日	山口県	山口市立鴻南中学校	中学1~2年生	480	異文化理解や世界平和等の道徳的価値を高める	国際協力推進員	鈴木博子
2月7日	広島県	広島市立翠町小学校	小学6年生	97	海外ボランティア体験談、ワークショップ	国際協力推進員	磯村祐子
2月8日	鳥根県	浜田市立第一中学校	中学3年生	200	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
2月9日	岡山県	倉敷市立旭丘小学校	小学6年生	65	総合学習「外国の文化にふれよう」海外ボランティア体験談	国際協力推進員	梶田三佐江
2月13日	山口県	岩国市教育委員会(美和支所)(美和文化会館)	一般市民、教職員	30	「人権について考える学習講座」国際理解に関わる人権問題	国際協力推進員	鈴木博子
2月14日	山口県	下関市立檜崎小学校	保護者および教職員	20	人権教育	国際協力推進員	鈴木博子
2月15日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学1年生	30	「職業人に学ぶ」参加動機、任国事情、体験談等	協力隊OV	後藤法子
2月16日	岡山県	赤磐市立赤坂中学校	中学2年生、保護者	90	海外ボランティア：ボランティアに対する日本との違いや問題点	国際協力推進員	梶田三佐江
2月16日	鳥取県	倉吉市立久米中学校	中学2年生	10	「国際理解講座」海外ボランティア体験談、生徒たちからの日本の伝統的な文化・芸能の出し物	協力隊OV	中嶋伸子
2月16日	岡山県	岡山県立西大寺高等学校	高校1~2年生(国際情報科)	90	海外ボランティア体験談(異文化交流体験報告会)	協力隊OV	三村良平
2月16日	広島県	県立広島大学	大学1~2年生	30	広島模擬国連大会(水問題、環境問題、国際協力やODAはどうあるべきか、なぜ援助するのか、援助は無償か有償か)	JICA職員	澁谷和朗
2月19日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学3年生	52	ワークショップ「新貿易ゲーム」	国際協力推進員	花岡潤
2月20日	鳥取県	八頭町立中央中学校	中学3年生	52	ワークショップ「新貿易ゲーム」	国際協力推進員	花岡潤
2月20日	広島県	安芸高田市立向原中学校	中学2年生	45	総合的な学習「国際理解」海外ボランティア体験談	協力隊OV	大久保理恵 石井壮
2月20日	広島県	広島市立亀崎小学校	小学6年生	70	海外ボランティア体験談：国際貢献について、日本を見つめ直す。	日系社会青年ボランティアOV	奥田麻衣
2月21日	広島県	広島県立三原高等学校	高校2年生、保護者	200	「社会のためにできること」途上国支援の現状、海外ボランティア体験談	協力隊OV	石津智久
2月22日	鳥根県	松江市立雑賀小学校	小学6年生	76	社会科「世界の平和と日本の役割-世界で活躍する人を招いて-」	協力隊OV	山下稚香子
2月23日	広島県	広島市立牛田新町小学校	小学6年生	76	「世界で活躍する日本人」海外ボランティア体験談、任国での原爆展と平和	協力隊OV	仁井勇佑
2月23日	岡山県	鏡野町シニアスクール(鏡野町教育委員会)(鏡野町立鏡野中学校)	シニアスクール受講者	16	海外ボランティア体験談(ブラジルの日系社会、アマゾンの自然と開発)	協力隊OV	原規子
2月26日	鳥取県	鳥取県東部地区高等学校地歴公民教育研究協議会(わらべ館)	高校の地歴公民担当者	50	海外ボランティア体験談、アフリカの伝統音楽	協力隊OV	大嘉麻子
3月1日	鳥根県	松江市立佐太小学校	小学6年生	14	JICA事業、バングラデシュのこと：人々の生活、子供たちの日常、日本とのかかわり	国際協力推進員	長富邦恵
3月4日	広島県	コスタリカを知る会(女性教育センター)	会員	50	海外ボランティア体験談：コスタリカの環境問題	協力隊OV	村上加枝
3月6日	広島県	北広島町立豊平南小学校	小学6年生	14	世界で活躍する日本人や日本の役割について	協力隊OV	大木健一
3月8日	鳥根県	あすなる会(なごやか事業)(矢の原会館)	高齢者	21	海外ボランティア体験談	日系社会シニアボランティアOV	荒木澄夫
3月11日	山口県	祥雲寺料理教室	一般会社員	20	料理教室：様々な国の料理を作り、その国の文化・歴史・現状を学ぶ	国際協力推進員	鈴木博子
3月12日	岡山県	金光学園中学・高等学校	高校2年生	230	国際理解を通しての人権教育	国際協力推進員	梶田三佐江
3月18日	広島県	呉市国際交流協会(つばき会館)	呉市国際交流協会会員および一般市民	33	海外ボランティア体験談	協力隊OV	平野泰子
3月20日	岡山県	鏡野町立鏡野中学校	中学1~2年生	175	海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティアOV	原規子
3月24日	広島県	広島市楽々園公民館	小学生	8	「世界のともだちこんにちは!」異文化理解ワークショップ、世界の子どもの話	国際協力推進員	磯村祐子

平成18年度 JICA中国施設見学(異文化体験教室) 受入実績

訪問総件数：30件

訪問者総数：952名

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容	講師区分	講師名
4月25日	広島県	福山市立福山中学校	中学3年生	124	JICA事業紹介、就職体験談、海外ボランティア体験談、ワークショップ(世界がもし100人の村だったら)	JICA職員 JOCA職員 JOCV OV	澁谷和朗 堀田直揮 堀田映子 皿海博信
6月5日	広島県	東広島市立西条中学校	中学1~3年生	15	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ(世界を知ろう)、海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 堀田直揮
6月9日	広島県	東広島市立御園宇小学校	小学2年生	13	施設見学、民族衣装・楽器体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
6月15日	広島県	東広島市社会福祉協議会	高齢者	35	JICA事業紹介、ワークショップ(フォトランゲージ)、海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員 HIC職員	澁谷和朗 地守ひずる 堀田直揮 福原浩明
7月4日	広島県	広島大学日本語教育コース	大学3年生	12	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談	JICA国内協力員 JOCA職員	木南圭映子 細川光宜
7月12日	広島県	広島大学生物生産学部	大学1年生	23	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員 JOCA職員	木梨陽子 細川光宜
7月14日	広島県	三次市立布野中学校	中学1年生	16	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
7月19日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	105	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる 細川光宜 上田文枝
7月20日	広島県	広島大学教育学研究科	大学院1年生	18	JICA事業紹介、ODA事業について	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる
7月21日	広島県	広島大学留学生センター	短期交換留学生	2	施設見学、JICA事業紹介、日本の教育協力の現状	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる
7月24日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生(国際文理コース)	39	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
8月4日	岡山県	倉敷市国際交流協会	小学生とその保護者	33	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ(民族衣装当てクイズ等)	JICA市民参加 協力調整員 JOCA職員	名村欣哉 細川光宜 上田文枝
8月8日	広島県	熊野町教育研究協議会国際理解教育部	小中学校教員	15	JICA事業紹介(開発教育支援事業について)、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	辻野博司 地守ひずる 上田文枝
8月10日	広島県	東広島市立松賀中学校	中学3年生	94	JICA事業紹介、ワークショップ(世界がもし100人の村だったら)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 地守ひずる 細川光宜 上田文枝
8月11日	岡山県	AMD A高校生会	高校生	7	JICA事業紹介、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA市民参加 協力調整員 JOCA職員	名村欣哉 細川光宜
8月29日	広島県	広島県立大和高等学校	高校生(英語クラブ)	5	海外ボランティア体験談	JOCA職員	細川光宜
9月29日	広島県	三次市立灰塚小学校	小学1~4年生	17	JICA事業紹介、施設見学、民族衣装・民族楽器体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 上田文枝
9月29日	広島県	尾道市立三成小学校	小学5年生	52	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
10月13日	広島県	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	53	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ(フォトランゲージ)	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
10月17日	広島県	東広島市立御園宇小学校	小学4年生	51	JICA事業紹介、民族衣装・楽器体験	JICA職員	澁谷和朗
11月8日	広島県	三次市立田幸小学校	小学5年生	16	JICA事業紹介、民族衣装・楽器体験、ワークショップ	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
11月9日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生	37	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 上田文枝

(前項に続く)

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容	講師区分	講師名
11月12日	広島県	東広島短歌会「真樹」	会員	6	JICA事業紹介、施設見学	JICA職員	岩崎 薫
11月15日	広島県	近畿大学附属福山中学校	中学3年生	24	JICA事業紹介、施設見学、 海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜 上田文枝
12月2日	広島県	広島国際大学心理科学部	大学生	29	JICA事業紹介、施設見学、 研修員との交流	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
2月6日	広島県	三次市立粟屋小学校	小学6年生	17	JICA事業紹介、海外ボラ ンティア体験談、施設見学	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
2月16日	広島県	安芸高田市立向原中学校	中学2年生	49	JICA事業紹介、施設見学、 民族衣装・楽器体験、ワー クショップ	JOCA職員	細川光宜 上田文枝
2月22日	広島県	安芸高田市立美土里中学校	中学3年生	27	JICA事業紹介、施設見学、 海外ボランティア体験談	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜
2月7日	石川県	石川県青年海外協力隊を支援する会	会員	4	施設見学、JICA職員との 意見交換	JICA職員 JOCA職員	生井年緒 他 細川光宜
3月14日	広島県	手話サークル藤	会員	14	JICA事業紹介、施設見学、 民族衣装体験	JICA職員 JOCA職員	澁谷和朗 細川光宜

平成18年度 教師海外研修実績

応募者：21名
派遣教師：16名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	氏名	都道府県名	学校名
第1回 5/28 第2回 6/17～6/18 第3回 7/29	7/30～8/11	第1回 9/30～10/1	ケニア (8名)	青木千穂子	鳥取県	鳥取県米子市立伯仙小学校
				吉野 雅子	鳥取県	米子市立住吉小学校
				坂井 務	鳥根県	美郷町立邑智小学校
				尾原 美香	鳥根県	鳥根県立松江工業高等学校
				河本 弘志	岡山県	真庭市立遷喬小学校
				蒔田 恵子	岡山県	岡山県立岡山南高校
				中山富美子	広島県	広島市立大塚小学校
				池本 順子	山口県	周防大島町立三浦小学校
		第2回 1/27	ガーナ (8名)	西村 茂樹	鳥取県	鳥取市立福部中学校
				岡上 美紀	広島県	広島市立観音小学校
				内藤 丞	広島県	広島市立久地南小学校
				長原 恵子	広島県	呉市立広小学校
				中村麻奈美	広島県	呉市立横路中学校
				嶺川 幸人	広島県	広島県立祇園北高等学校
				時広美佐恵	山口県	周南市立勝間小学校
				堀江 新子	山口県	山口県立防府養護学校(高等部)

平成18年度 国際理解教育研修会

会場：ひろしま国際プラザ

後援：鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、
山口県教育委員会、広島市教育委員会

国際理解教育研修会（第1回）

テーマ：体験してみよう！参加型学習

実施日：平成18年5月27日

参加者：37名（鳥取県7名、島根県2名、岡山県10名、広島県13名、山口県5名）

【プログラム】

時間	内容
11:45～12:30	受付
12:30～12:45	開会 JICA中国所長挨拶 JICA中国所長 生井 年緒
12:45～13:30	参加型体験 「写真合わせ」他 講師：JOCA中国支部 堀田 直揮
13:30～13:40	休憩・移動
13:40～14:25	参加型学習体験 ～小学校コース～ 「H17教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：広島市立吉島小学校 東岡 智富
	参加型学習体験 ～中・高等学校コース～ 「H17教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：岡山県立天城高等学校 村井 容子
14:25～15:10	ディスカッション 「どんな手法？参加型手法」 JOCA中国支部 地守ひずる

国際理解教育研修会（第2回）

テーマ：作ってみよう！国際理解教育授業プラン

実施日：平成18年9月30日～10月1日

参加者：53名（鳥取県7名、島根県6名、岡山県9名、広島県25名、山口県6名）

【プログラム】

1日目

時間	内容
12:15～13:00	受付/宿泊施設チェックイン
13:00～13:10	開会の挨拶
13:10～15:45	参加型学習体験 「青年海外協力隊体験に基づいた教材を用いて、参加型学習を体験して見ましょう。」
15:45～16:00	JICA中国「開発教育支援事業・教師海外研修とは??」 JICA中国「開発教育支援事業内容をご紹介します。」
16:00～16:15	休憩/移動
16:15～17:30	JICA 教師海外研修 研修報告 ICA 教師海外研修...小学校・中学校・高等学校・盲・聾・養護学校の先生方が、開発途上国における国際協力や教育の現場を視察する海外研修旅行。JICA中国は、今年夏、中国地方在住の教員16名をケニアとガーナに派遣いたしました。その海外研修の様子をご紹介します。
18:00～20:00	懇親会

2日目

時間	内容
9:00～12:00	授業案の作成 「教師海外研修参加教員が海外研修で持ち帰った資料等を参考にしながら、国際理解教育授業案を作成しましょう。」
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:15	模擬授業実演・評価 「作成した授業案を実演し、それを評価・改善しましょう。」
14:15～14:25	休憩/移動
14:25～15:05	発表/共有 「改善した授業案の発表。完成した授業プランを参加者全員で共有しましょう。」
15:05～15:15	総括
15:15～15:30	ふりかえり/アンケート記入 閉会の挨拶

国際理解教育研修会（第3回）

テーマ：聞いてみよう！学校現場での様々な取り組み

実施日：平成19年1月27日

参加者：41名（鳥取県6名、島根県4名、岡山県6名、広島県20名、山口県5名）

【プログラム】

時間	内容
12:00～12:30	受付
12:30～12:40	開会の挨拶
12:40～12:50	JICA教師海外研修概要説明 JICA中国職員 澁谷 和朗
12:50～13:00	休憩・移動
13:00～13:15	アイスブレイキング 「まずは頭と体の体操から！」 青年海外協力協会 堀田 直揮
13:15～15:00	教師海外研修参加教員による授業実践報告 平成18年度教師海外研修参加教員16名
15:00～15:10	休憩・移動
15:10～16:10	話し合ってみよう！国際理解教育 青年海外協力協会 堀田 直揮
16:10～16:25	JICA中国開発教育支援事業とは？ JICA中国職員 澁谷 和朗
16:25～16:30	閉会の挨拶 JICA中国所長 生井 年緒

平成18年度 研修員の学校訪問実績

訪問研修員総数 51名

訪問日	訪問校	時間	研修員数	研修員国籍	訪問した研修コース名
5月26日	山口県立防府養護学校	13:30 - 15:15	7	ミクロネシア、ニカラグア、 パキスタン、 マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、 東ティモール、ベトナム	廃棄物管理総合技術
6月9日	東広島市立高屋東小学校	9:30 - 11:30	8	チリ、コロンビア、インドネシア、 ケニア、マレーシア、ミャンマー、 トルコ	養殖魚の健康と安全管理
7月14日	広島市立三田小学校	10:00 - 14:00	10	ヨルダン、オマーン、シリア、 イエメン	中東地域「上水道維持管理」
7月14日	岡山市立石井小学校	10:55 - 15:00	10	アフガニスタン、ブルギナファソ、 中華人民共和国、エチオピア、 ニジェール、パキスタン、タンザニア、 ジンバブエ	乾燥地水資源の開発と環境評価
1月19日	広島市立久地南小学校	10:00 - 12:00	10	ボツワナ、マラウイ、モーリシャス、 セーシェル、タンザニア、ザンビア、 ジンバブエ	南部アフリカ地域「中小企業育成」
1月19日	三原市立幸崎中学校	13:30 - 15:30	6	インドネシア、マレーシア、 ミャンマー、フィリピン、タイ、 ベトナム	食品加工・保全技術

平成18年度 高校生国際協力体験プログラム

(1) 参加校

実施日：平成18年8月17日 ~ 平成18年8月19日

会 場：ひろしま国際プラザ

共 催： ひろしま国際センター

学 校 数 18校

参加生徒数 58名

県名	学校名	引率教諭	参加生徒	
			学年	人数
鳥取県	鳥取県立鳥取商業高等学校	赤 木 綾 香	2	4
	私立倉吉北高等学校	高 嶋 博 子	2	4
島根県	島根県立松江工業高等学校	尾 原 美 香	1	2
岡山県	岡山県立岡山南高等学校	蒔 田 恵 子	3	2
	岡山県立総社南高等学校	中 野 淑 子	3	3
広島県	広島県立呉三津田高等学校	下 栗 敦 子	1	2
	広島県立戸手高等学校	平 田 俊 彦	2	2
			1	1
	福山市立福山高等学校	藤 田 憲 弘	2	3
	私立広島女学院高等学校	向 井 均	2	3
私立山陽女学園高等部	重 藤 真知子	3	3	
山口県	山口県立下関南高等学校	三 嶋 和 雄	2	4
	私立誠英高等学校	大 村 洋 美	2	4
徳島県	徳島県立城西高等学校	松 島 節 子	3	3
香川県	香川県立高瀬高等学校	奈 良 美都子	3	2
愛媛県	愛媛県立伊予農業高等学校	今 井 晶 子	3	4
	私立済美高等学校	河 人 晴 樹	1	4
高知県	高知県立高知南高等学校	嶋 崎 京 都	3	4
	私立高知中央高等学校	久 保 慶 祐	1	3
			3	1

(2) プログラムスケジュール

第1日目：8月17日

時間	場所	内容
12:30~13:30	エントランスホール	受付
13:30~13:45	エントランスホール	開会 主催者あいさつ JICA中国 所長 生井 年緒 ひろしま国際センター 常務理事 土居 淑子
13:45~14:00	エントランスホール	プログラム説明 JICA中国 澁谷 和朗
14:00~15:40	体育館	(ワークショップ1) はじまるぞ！ 国際協力体験プログラム これから始まる2泊3日のプログラム。まずは自己紹介と仲間づくりから。 もしも世界が85人の村だったら... もしも世界が85人の村だったら...どんな言葉を話してるの？ どんどこで暮らしているの？ 地球で暮らす様々な人たちと、わたしたち日本人についてもっとよく知ってみよう！ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
15:40~16:00		休憩
16:00~16:50	体育館	(おはなし1) 知ってる？ 青年海外協力隊 JICAってどんなことをやってるの？ よく聞く青年海外協力隊って？ JICA事業のひとつである青年海外協力隊について紹介します。 JICA中国 木梨 陽子
16:50~18:30		(おはなし2) のぞいてみよう！ 青年海外協力隊 青年海外協力隊の活動とは？ 何をやっているの？ どんな生活をしているの？ 隊員活動の思い出、帰国してから思うこと、バラエティあふれる隊員活動。熱い思いを胸に活躍する協力隊経験者の話から、その魅力に触れてみよう。 1. 花岡 潤 (派遣国：パプアニューギニア、職種：村落開発普及員) 2. 長富 邦恵 (派遣国：バングラデシュ、職種：家畜飼育) 3. 梶田三佐江 (派遣国：タンザニア、職種：コンピュータ技術) 4. 鈴木 博子 (派遣国：セネガル、職種：野菜栽培) 5. 谷 祐喜子 (派遣国：タイ、職種：日本語教師) 司会： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
18:30~19:00		チェックイン
19:00~20:00	食堂	夕食(バイキング)

第2日目：8月18日

時間	場所	内容
9:00~10:30	体育館	(ワークショップ2) 挑戦！ 青年海外協力隊 「クワボンザ村」 さあ、あなたも青年海外協力隊の一員となって活動をはじめましょう！ 自分のできることは？ 1人ではできないことも、力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも...。みんなで話し合っ活動プランができたならグループ毎に発表だ。他のグループの活動は...？ 正解はありません。いろんな見方、感じ方。みんなで考えてみましょう。 ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮

時間	場所	内容
10:30~10:50		移動・休憩
10:50~12:00	306研修室 セミナールーム1.2	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」 A B C D E グループ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 F G H I J グループ ファシリテーター： 青年海外協力協会 堀田 直揮
12:00~13:00	食堂昼食	
13:00~14:40	306研修室 セミナールーム1.2	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」 A B C D E グループ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 F G H I J グループ ファシリテーター： 青年海外協力協会 堀田 直揮
14:40~16:00	体育館	挑戦！青年海外協力隊 「クワボンザ村」 ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
16:00~16:30		移動・休憩
16:30~18:30	体育館	研修員との交流 各班に分かれ、研修員との交流の時間。交流は言葉じゃないぞ、ハートだぞ。積極的に研修員にアタックしよう！ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
18:30~19:00		移動・休憩
19:00~20:30	食堂	研修員、JICA職員、青年海外協力隊員との懇親会

第3日目：8月19日

時間	場所	内容
8:30~10:00	体育館	(ワークショップ3) 考えよう！今、自分たちにできること 「挑戦！青年海外協力隊」で考えた活動プラン。それは本当に実践可能？青年海外協力隊になれない今、プランにそって自分たちにできることはあるのか？想像だけじゃない、今の自分たちにできること。みんなで意見を出し合ってみよう！ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
10:00~12:10	体育館	(ワークショップ4) 決めた！ これからの自分 1日目、2日目のプログラムのなかで学んだこと、感じたことをふり振り返りながら、これから自分たちにできることは何か、みんなで考えてみよう。グループで意見をまとめたら発表です。他の参加者は何を感じ、学んだのでしょうか。参加者みんなで、2泊3日で学んだことを共有しよう！ ファシリテーター： 青年海外協力協会 高見 早苗 堀田 直揮
12:10~12:20		移動
12:20~12:25	エントランスホール	閉会あいさつ
12:25~12:35	エントランスホール	事務連絡

平成18年度 高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2006年6月1日～9月22日)

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (2校)	松柏学院倉吉北高等学校	6	広島県 (15校)	広島女学院高等学校	3	
	鳥取県立鳥取商業高等学校	4		広島県立西条農業高等学校	3	
鳥取県合計		10		山陽女子学園高等部	3	
島根県 (2校)	島根県出雲西高等学校	19		進徳女子高等学校	2	
	島根県立松江工業高等学校	2		福山市立福山高等学校	2	
島根県合計		21		広島市立大手町商業高等学校	1	
岡山県 (6校)	岡山県立総社南高等学校	193		広島県立呉三津田高等学校	1	
	岡山県立岡山南高等学校	55		広島県立庄原格致高等学校	1	
	岡山県立岡山操山高等学校	19		広島県合計		210
	吉備高原学園高等学校	4		山口県 (6校)	山口県立下関南高等学校	56
	岡山県立倉敷南高等学校	1			山口県立徳山高等学校	26
	備前市立片上高等学校	1			山口県立防府高等学校	8
岡山県合計		273			山口県立熊毛南高等学校	7
広島県	広島県立安芸府中高等学校	70			三田尻学園誠英高等学校	4
	広島県立広島高等学校	63			山口県立下関工業高等学校	1
	広島学院高等学校	36	山口県合計		102	
	広島県立呉三津田高等学校	11	中国5県合計(31校)		616	
	比治山学園比治山女子高等学校	5	全国応募作品総数		15,962	
	福山暁の星女子高等学校	5				
	広島県立戸手高等学校	4				

審査員特別賞

広島市立大手町商業高等学校 3年 ダリスタン・セサリー 「人を助ける喜びを知って」

入選

鳥取県立鳥取商業高等学校 2年 村上 逢香 「協力って、何？」
 出雲西高等学校 3年 森山 夏樹 「世界の子どもたち」
 岡山県立岡山南高等学校 3年 松下 彩 「生きること」
 山口県立下関南高等学校 1年 岡田 雅子 「一人の力は皆の平和」

青年海外協力協会会長賞

倉吉北高等学校 3年 川原 唯 「ジャワ島地震を通して」
 岡山県立岡山操山高等学校 2年 岸 珠美 「愛から始まる国際協力」
 山口県立防府高等学校 2年 岡田 舟 「ホームステイを通して」

平成18年度 中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：2006年6月1日～9月22日)

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (3校)	船岡町立船岡中学校	37	広島県 (32校)	呉市立倉橋東中学校	21	
	三朝町立三朝中学校	13		呉市立白岳中学校	21	
	鳥取市立河原中学校	2		広島市立似島中学校	18	
鳥取県合計		52		廿日市市立吉和中学校	18	
島根県 (5校)	益田市立高津中学校	73		江田島市立切串中学校	12	
	島根大学教育学部附属中学校	17		東広島市立磯松中学校	12	
	美郷町立邑智中学校	11		府中市立第二中学校	10	
	出雲市立大社中学校	5		広島市立阿戸中学校	9	
	松江市立第三中学校	1		呉市立天応中学校	8	
島根県合計		107		竹原市立竹原中学校	7	
岡山県 (11校)	玉島北中学校	114		呉市立昭和北中学校	5	
	金光学園	70		広島市立亀崎中学校	4	
	津山市立津山西中学校	53		府中町立府中中学校	4	
	玉野市立荘内中学校	36		福山市立東中学校	4	
	高梁市立高梁中学校	16		東広島市立向陽中学校	3	
	玉野市立東児中学校	12		呉市立白岳中学校	2	
	瀬戸内市立邑久中学校	4		庄原市立東城中学校	1	
	倉敷市立玉島東中学校	4		広島県合計		1,401
	朝日塾中学校	3		山口県 (14校)	下関市立玄洋中学校	73
	岡山市立旭東中学校	2			防府市立右田中学校	47
	倉敷市立児島中学校	2			下関市立夢が丘中学校	41
岡山県合計		316			香川学園宇部フロンティア大学付属中学校	26
広島県	広島市立宇品中学校	281			光市立室積中学校	10
	広島市立城南中学校	151			山陽小野田市立小野田中学校	10
	広島市立祇園東中学校	141			阿東町立阿東中学校	8
	広島県安芸郡熊野町立熊野中学校	94			宇部市立藤山中学校	7
	広島市立瀬野川東中学校	91			梅光学院梅光女学院	7
	広島市立祇園中学校	80			下関市立長成中学校	6
	熊野町立熊野東中学校	73			長門市立向津具中学校	4
	山陽女学園中等部	69			周南市立鼓南中学校	3
	呉市立昭和中学校	64			下関市立吉見中学校	2
	三原市立大和中学校	43			周南市立富田中学校	2
	三原市立本郷中学校	41	山口県合計		246	
	呉市立両城中学校	40	中国5県合計(65校)		2,122	
	東広島市立高美が丘中学校	29	全国応募作品総数		28,123	
	安芸高田市立吉田中学校	24				
学校法人比治山学園比治山女子中学校	21					

国内機関長賞

広島県立広島中学校	2年	平田 桃子	「人との出会い、自分との出会い」
慶進中学校	3年	石川 裕美	「私のランドセルの第二の人生」

入選

八頭町立船岡中学校	3年	林 映美子	「恩返しをするために」
松江市立第三中学校	3年	青山 浩子	「私に与えられた使命」
玉野市立荘内中学校	3年	小川 智代	「支援って何だろう」
岡山市立興除中学校	1年	池田 周平	「平和への伝達」
庄原市立東城中学校	3年	土橋 友香	「伝えたいあの笑顔」
広島市立祇園中学校	3年	大谷 菜月	「誰かの願いが叶うころ」
福山暁の星女子中学校	3年	池田 奈緒美	「未来を作るために」

平成18年度 海外視察等に関する支援・便宜供与実績

合計： 7件
参加者数：80名

行事名（団体名）	訪問国	海外渡航期間	人数	内容
カンボジア国支援事業に係る意見交換のための派遣 （平和貢献NGOsひろしま）	カンボジア	7/29～8/1	2	JICA事務所訪問、カンボジアにおける支援事業、保健分野の人材育成に係る意見交換
青少年国際交流・協スタディーツアー2006 （財団法人広島平和文化センター）	バングラデシュ	7/29～8/6	12	青年海外協力隊の活動現場視察
世界に翔けボランティア事業・海外短期研修 （岡山県企画振興部国際課）	カンボジア	8/20～8/26	8	JICA事務所訪問、プロジェクト視察、青年海外協力隊の現場活動視察
第15期「ひろしまアジア塾」海外研修 （財団法人ひろしま国際センター）	ベトナム	8/27～9/13	19	JICA事務所、日越人材協力センター訪問
松江市職員研修 （松江市）	中華人民共和国	11/12～11/17	15	JICA事務所訪問、青年海外協力隊の活動現場視察
平成18年度シニア国際協力ボランティア養成セミナー海外研修 （財団法人広島平和文化センター）	タイ・ベトナム	1/22～1/29	17	JICA事務所訪問、シニア海外ボランティアの活動現場視察
海外研修 （鳥取大学医学部サークル「国際保健友の会ハクナマタタ」）	フィリピン	3/10～3/26	7	JICA事務所訪問、プロジェクト視察、青年海外協力隊の活動現場視察

平成18年度 海外記者派遣実績

年度	派遣国	派遣期間	派遣記者	取材結果
平成14年度	エチオピア ジンバブエ ザンビア	2002.9.15～ 2002.9.28	中国新聞 東広島支局 吉原圭介 記者	「夢づくり 青年海外協力隊inアフリカ」(全6回) 中国新聞掲載
平成15年度	メキシコ パラグアイ	2003.8.31～ 2003.9.5	読売新聞 鳥取支局 井口 馨 記者	「地球の裏側から」(全5回) 読売新聞鳥取版掲載
平成16年度	ベトナム フィリピン	2004.11.3～ 2004.11.11	山口新聞 伊藤大輔 記者	「大海原を越えて 青年海外協力隊比越報告」(全5回) 山口新聞掲載
平成17年度	ケニア ウガンダ	2006.1.30～ 2006.2.11	山陰中央新報 井上誉文 記者	「1000キロの架け橋」(全6回) 山陰中央新報掲載 2006年3月11日 ピーストークマラソンin鳥根で取材報告
	マラウイ ザンビア	2006.3.6～ 2006.3.17	山陽新聞 藤岡慎吾 記者	「大地に汗を～アフリカ支援の今～」(全5回) 山陽新聞掲載 「手と手と手～岡山発 国際貢献～」山陽新聞(平成18年1月1日から平成18年6月23日まで97回連載)に参考情報として活用
平成18年度	カンボジア フィリピン	2006.5.25～ 2006.6.3	新日本海新聞 坂 彩子 記者	「きずなは固く～青年海外協力隊の2女性～」(全4回) 日本海新聞掲載 「信本先生のカンボジアメール」日本海新聞連載中(平成19年4月現在) ピース・トーク・マラソンin鳥取で取材報告
	タイ ベトナム	2006.10.16～ 2006.10.24	山口新聞 森重瑛美 記者	「山口から東南アジアへ～国際支援活動を追う～」(全5回) 山口新聞掲載 ピース・トーク・マラソンin山口で取材報告

平成18年度 職業インタビュー受入実績

学校名	受入日	受入生徒数
広島県立広島中学校	2/14	5

平成18年度 広島大学との連携協力

連携対象と連携区分

連携対象		連携区分	
1	国際協力に関する研究及び教育	1 委員の委嘱 2 セミナー等の共催 3 海外プログラムの実施 4 大学院入学推薦枠の適用 5 その他	
2	開発途上国の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資する事業	1 技術研修の実施（委託、講師派遣） 2 市民参加協力事業の実施 3 海外プロジェクトの実施（専門家・調査団員派遣、委員の委嘱、実施契約） 4 その他	
3	国際協力、国際交流に係る人材の育成	1 連携講座、出前講座、施設見学の実施 2 インターンシップの実施 3 人事交流 4 その他	
4	その他、双方が合意するもの	1 施設の利用（特別宿泊料金の適用、学会の開催、説明会等の実施） 2 広報活動の支援 3 その他	

平成18年度計画・実施監理一覧表（広島大学との連携協力協定・JICA主管分）

番号	事業名	期間・日時	連携対象区分	主管部署・担当氏名・電話番号	連携部署・担当部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
1	集団研修「中等科学教育実技Ⅰ」	研修実施期間 平成18年8月8日 ～10月1日	2	JICA中国 業務第1チーム（三浦） 082-421-6300	広島大学大学院教育学研究科（磯崎） 082-424-6812	研修参加者（6名）：科学教育手法有する教員を養成。到達目標：物理、化学などの実験技術の習得。低コスト理科実験機材の開発方法の習得。日本の科学教育の学習指導の理解。18年度は全5年次の2年次目。	研修参加者は7名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
2	地域別研修「仏語圏アフリカ教育行政」	研修実施期間 平成18年6月6日 ～7月16日	2	JICA中国 業務第1チーム（三浦） 082-421-6300	広島大学高等教育研究開発センター（大樽） 082-424-6233	研修参加者（10名）：初中等の学校長などに日本の教育全般を理解してもらおう。到達目標：日本の初中等教育の包括的知識の育成。日本の初中等教育の経験と実践の理解深める。特定教育テーマの深化。18年度は全5年次の4年次目。	研修参加者は8名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
3	国別研修「南アフリカ共和国理数科教員養成者研修」	研修実施期間 平成18年11月1日 ～12月11日	2	JICA中国 業務第1チーム（三浦） 082-421-6300	広島大学教育開発国際協力研究センター（長尾） 082-424-6249	研修参加者（9名）：南アフリカ共和国の現職中等理数科教員の指導法を改善。到達目標：日本と自国の教育の経験と現状を比較。理数分野の教授法の質改善。自国の現職教員研修計画の策定。	研修参加者は10名に変更。左記期間、研修内容で予定通り実施。
4	地域別研修「アフリカ地域・研究と対話による自立的な基礎教育開発の促進」	研修実施期間 平成19年2月14日 ～3月17日	2	JICA中国 業務第1チーム（三浦） 082-421-6300	広島大学教育開発国際協力研究センター（澤村） 082-424-6913	研修参加者（12名）：各国の現状や課題に即した基礎教育分野の調査研究計画作成。到達目標：基礎教育開発での高等教育機関の役割を理解。自国の基礎教育開発への自立的取組みを促進。自国の基礎教育開発に関する調査研究計画の作成。18年度は全3年次の3年次目。	研修参加者人数、期間、研修内容は左記と同様で予定通り実施。本研修は18年度で終了。
5	国別研修「ケニアINSET運営管理」	研修実施期間 平成19年2月21日 ～3月26日	2	JICA中国 業務第1チーム（三浦） 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科（田畑） 082-424-6937	研修参加者（12名）：地区レベルにおける現職教員研修の運営管理を担う人材を養成。到達目標：日本の教育概要の理解を深める。日本の現職教員研修の運営管理方法を習得する。各研修員毎に、所属地区の現職教員研修の改善行動計画をまとめる。18年度は全5年次の4年次目。	ケニアからの国別研修参加者12名に加え、アフリカ3カ国からカウンターパート研修として7名（ウガンダ3名、ザンビア2名、マラウイ2名）が参加して、左記期間、研修内容で予定通り実施した。
6	地域別研修「社会的環境管理能力の形成と政策評価」	研修実施期間 平成19年11月7日 ～12月10日	2	JICA中国 業務第1チーム（後藤） 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科（松岡） 082-424-6920	研修参加者（12名）：環境担当行政官の社会的環境管理能力の向上。到達目標：自国の環境管理や評価に関する政策提言。環境管理への政府・企業・市民の連携の重要性理解。大気汚染などに関する環境規制の実践的な知識習得。18年度は全5年次の3年次目。	左記人数、期間、研修内容で予定通り実施。本コースは20年度まで実施予定であったが、広島大学の受け入れ体制の変更などにより18年度で終了することになった。

平成18年度計画・実施監理一覧表（広島大学との連携協力協定・JICA主管分）

番号	事業名	期間・日時	連携対象区分	連携部署・担当氏名・電話番号	連携部署・担当部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
7	国別研修「インドネシア国際収支・国際経済マネジメント能力強化」	研修実施期間 平成19年3月14日 ～4月2日	2	JICA中国業務第1チーム(橋本) 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科(小秋) 082-424-6917	研修参加者(10名): 国際収支統計の知識を深め政策決定に反映、到達目標: 国際収支統計の正確な把握・作成、国際収支統計の予測・モニタリング能力向上。18年度は全3年次の2年次目。	研修期間を3月6日～3月24日に変更して実施。研修参加者人数、研修内容は左記と同様。
8	日系研修(個別長期)「大気汚染、酸性雨、地球温暖化の科学」	研修実施期間 平成18年7月18日 ～19年6月29日	2	JICA中国業務第1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学総合科学部(佐久川) 082-424-6504	研修参加者(1名): 大気汚染、酸性雨、地球温暖化などの地球規模の大気環境問題の理解を深め、問題解決の手法を学ぶ。	左記内容で予定通り実施中。
9	日系研修(個別短期)「微気象観測と樹木の導管の画像解析」	研修実施期間 平成18年4月24日 ～6月30日	2	JICA中国業務第1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学総合科学部(土谷) 082-424-6498	研修参加者(2名): 熱帯地域の農林業に不可欠な気象観測の手法(微気象パラメータ)の計算と解釈の方法等を学ぶ。	左記内容で予定通り実施。
10	日系研修(個別短期)「遺伝子組換え植物の作成と検出技術習得」	研修実施期間 平成18年4月17日 ～6月27日	2	JICA中国業務第1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学大学院理学研究科生物科学専攻植物分子細胞構築学研究室(鈴木) 082-424-7455	研修参加者(1名): 遺伝子組換え品種の検出・作成技術及びその基礎となるDNA技術とアグロバクテリウム操作技術について学ぶ。	左記内容で予定通り実施。
11	日系研修(個別長期)「口腔保健学」	研修実施期間 平成18年5月15日 ～19年4月20日	2	JICA中国業務第1チーム(後藤) 082-421-6300	広島大学歯学部口腔保健学専攻口腔保健学講座 082-424-7455	研修参加者(1名): 口腔保健に関し、三次元デジタルイメージングと画像処理の技術、それを利用したコホート型の研究、その他基本的技術操作等について学ぶ。	左記内容で研修実施中。
追加1	ケニア長期研修員「中等理数科教育」	研修実施期間 平成17年9月26日 ～20年4月3日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院教育学研究科(高岡) 082-424-7089	研修参加者(1名): 本研修はケニアで実施しているJICAの「中等理数科教育強化計画プロジェクト(フェーズ2)」に関わっているカウンセラーパートを受け入れているもので、水環境問題を環境管理という視点から研究を行い、その成果をプロジェクトが行っている水環境技術能力向上の中で環境工学シニアリング部門に活用し、ベトナムにおける適用可能な技術に反映させる。	左記内容で研修実施中。
追加2	カンボジア長期研修員「環境管理技術能力向上」	研修実施期間 平成18年9月3日 ～20年10月3日	2	JICA中国業務第1チーム(三浦) 082-421-6300	広島大学大学院国際協力研究科(高橋) 082-424-7089	研修参加者(1名): 本研修はベトナムで実施しているJICAの「水環境技術能力向上プロジェクト」に関わっているカウンセラーパートを受け入れているもので、水環境問題を環境管理という視点から研究を行い、その成果をプロジェクトが行っている水環境技術能力向上の中で環境工学シニアリング部門に活用し、ベトナムにおける適用可能な技術に反映させる。	左記内容で研修実施中。
12	JICA中国における広島大学客員研究員等のセンター宿泊特別料金の試行的設定	試行期間 (平成18年4月1日～9月30日)後の本格導入	4	JICA中国総務チーム長(岩崎) 082-421-6300	広島大学国際学部副学長(高光) 082-424-6042	1. 中国国境センター施設の有効利用の観点から、広島大学との連携協力協定(2005.12.14締結)に基づいて、以下の理由により、同大学に受け入れる外国人研究員等が同センターに宿泊する場合には特別設定料金を適用することを試行する。 2. 同特別設定料金は、暫定的に¥4,541/泊(朝食込み、税込)とする。 3. 試行期間は、平成18年4月1日から同年9月30日までの半年間とする。 4. 試行結果は、宿泊者に対するアンケートも含めてとりまとめ、上述試行後の対応に反映させる。	連携プログラム定例年次協議(4/26)の場においても、大学側からこの実現に強い要望があった。試行については、実現できなかつた。大学の連携協力協定に規定する施設の相互利用に基づき宿泊する者の一時的別料金として、¥4,541(朝食込み)の適用がH19年度から可能となったことから、19年度連携計画で、広島大学外国人研究員センター等の当該特別料金によるJICA中国宿泊を推進する。
13	IDEC-JOCV連携プログラム(サンビシア理数科教師グループ派遣) 広島大学主管と同案件	平成14年4月～5年間	1 3 2	青年海外協力事務局 海外グループアフリカ・中東・欧州チーム(萩原) 03-5352-5566	広島大学大学院国際協力研究科(IDEC)内、社会連携事業委員会サンビシア専門部会(池田) 082-424-6939	IDECの学生を青年海外協力隊員として派遣するプログラムである。18年度の計画概要は、以下のとおり。 未定: 連携協議書の閉催 10月: 協議書の内容検討・決定 未定: テレビ会議システムを利用したの講義 これまでの派遣実績は、以下のとおり。 14/ 2次隊で3名派遣 15/ 2次隊で2名派遣 15/ 3次隊で1名派遣 16/ 3次隊で2名派遣 17/ 2次隊で3名派遣 17/ 3次隊で1名派遣	本プログラムの協定は、平成13年5月24日に締結されており、協力期間を5年間としている。18年度については、包括協定を基とした本年次協議で連携プログラムとして位置づけることから、上述協定内容の有効性に問題はない。なお、当該プログラムの19年度以降の扱いについては、今後の協議による。また、5年間の当該プログラムの効果分析に当たっては、大学側支援の有効性の検証に留意して、今後の同種の協力プログラムのモデルとなることを期待(以上、18年度定例年次協議 4/26の結果) 広島大学大学院国際協力研究科とJICA青年海外協力隊事務局の連絡協議会の開催(5/26) IDEC馬場助教授の現地巡回指導(8/4～14) IDEC-JOCV連携プログラム関連広報資料の在外事務所及び国内機関等への配布、協力隊プログラム参加JCVの専業説明会への参加(10月)、関係4機関(IDEC、サンビシア事務所、青年海外協力隊事務局、JICA中国)TV協議(11/16)

平成18年度年度計画・実施監理一覧表（国際協力機構との連携協力機構との連携協力計画・広島大学主管分）

番号	事業名	期間・日時	連携連携対象区分	主管部署・担当氏名・電話番号 (要厚)	連携部署・担当部署・電話番号	事業計画概要	進捗状況・成果
6	ベトナムにおける歯科口腔保健医療分野の人材育成支援プロジェクト	平成18年8月1日 から23年7月31日 (5年間)		広島大学歯学部 (要厚) 082-257-5660	JICA人間開発部 JICAベトナム事務所 連携	ベトナムの保健医療水準は、ベトナム戦争後30年を迎えて全般的には向上の方向にあるが、歯科口腔保健医療の状況は惨憺たるもので、その原因として歯科口腔保健従事者の不足と都市への集中があげられる。ベトナムでは人口4千万人に對して歯科医師1人(日本は1800人に對して年間190人あり、5つの歯科大学の定員総和も人口約7000万人に對して年間190人で、技工士は2700人)のみである。また、コデナスタップとしての歯科(日本教育はベトナム全土で1機関でしか行われておらず、歯科衛生士の制度は発達していない。農村部では無資格の医療スタッフが診察や治療にあたるなど、国内における歯科口腔保健従事者の育成が急務となっている。なお、本事業では無資格の医療従事者の育成が急務となっており、その育成には歯科口腔保健医療分野の人材育成を支援したい。なお、本事業計画は戦争終結から30年を経て近代化と平和の希求に情熱をたぎらせるベトナムに、同様の経験を有する平和都市広島を支援するベトナムとして貢献でき社会的意義も大きい。) 2000年より、広島大学歯学部同窓生によるNGO日本歯科ボランティア機構(JAVDO)が立ち上げられ、ベトナムにおける予防や治療活動を開始。以降、定期的に訪問し、派遣活動は30回を超えている。このような活動を基盤として、2006年1月に広島大学で開催されたHiroshima Conference on Education and Science in Dentistry、2006にはホーチミン市医科薬科大学歯科口腔科学部のHoang Tu Hung学部長が参加し、協力要請を受けることにも、同年3月14日には広島大学歯学部の柴原英児学部長ならびに高田 隆歯学科長がホーチミン市を訪問し、今後の協力について話し合いを行った。	(JICA人間開発部コメント) 当該案件は、国別事業実施計画の以下の3重点プログラムに該当しない。保健医療機関の機能強化支援、公衆衛生啓蒙普及(リプロダクティブヘルス)支援、感染症対策支援、公衆衛生啓蒙普及(リプロダクティブヘルス)支援、国別事業実施計画(4/26)の結果)ベトナム国に對するJICA事業実施計画に合致していないことから、保健医療分野協力の情報共有として、連携する。特に、大学側関係者が当該国を訪問される際には、JICA事務所と意見交換する機会を持つ等、相互に情報共有に務める。JICA協力によるJICA協力の可能性については、今後、歯学部長とJICA中国で意見交換する。
7	「技術移転」MOT (Management of Technology) プログラム	n.a		広島大学産学連携センター (松井)	JICA中国 (連携事務局)	平成17年度経済産業省委託事業「発展途上国への技術移転MOT教育プログラム」として、「技術移転論」を取りまとめた。概要は以下参照。 1. 視点：受入れ・移転側の両者の視点から技術移転を学ぶ。技術移転を発展的に捉える。 Win-Win Solution を追求。技術移転の基礎と課題を学習。国際的なナショナルエンジニアリングを担う留学生を担当する地域の技術者。日本の技術を橋渡しする留学生 2. 対象：インタナショナルエンジニアリングを担う学生。技術移転を担当する地域の技術者。日本の技術を橋渡しする留学生	JICA横浜主管の集団研修コース「職業能力開発行政セミナー」で、当該教材を使用した「技術移転と人材開発」と題する講義を行った(1/24)。当該研修コースは、JICAと厚生労働省の協力のもと開発途上国において職業能力開発を担当する行政官を日本に招聘し、日本における労働事情及び職業能力開発の現状を紹介し、参加各国の職業能力開発行政全般の発展を通して社会・経済の発展に寄与することを目的としている。参加研修員は、アジア、アフリカ、南太平洋などの諸国から選抜された職業訓練行政官で、開発途上国に向けた技術移転に高い関心を持ち、多くの質問やコメントが出て、活発な議論が行われた。
番外	JICAプロジェクト「ハングランドシユ小学校教育強化計画」	平成16年10月 ～20年9月	n.a. n.a.	広島大学大学院国際協力研究科内、ハングランドシユ合同運営委員会 (馬場) 082-424-6942	JICAバングランドシユ事務所、JICA人間開発部、JICAベトナム事務所 (本件は、アンサルトン・講演実約に基づく事業であることから、連携プロジェクトとして位置づけない。)	受託事業(4年間):ハングランドシユ国初等教育理科教育の質的向上を担う初等教育計画II(PEDEPII)に位置づけられ、本事業は特に第二コンポーネント「学校及び教室における質の改善」を担っている。大学法人として国内で初めて、実施契約に基づき受託した。	JICAバングランドシユ事務所、JICA人間開発部、JICAベトナム事務所 (参考まで)
参考情報	外務省海外巡回健康相談	平成18年11月の3週間	n.a. n.a.	広島大学医学部外科学(未田) 082-257-5215 附属病院・看護部 082-257-5485	JICAインドネシア事務所、JICA東チモール事務所 (参考まで)	平成18年度は、東南アジア(インドネシア、東チモール)における海外在留邦人の健康診断は実施しなかった。	平成18年度は、東南アジア(インドネシア、東チモール)における海外在留邦人の健康診断は実施しなかった。

主な関係団体（中国5県）

（1）国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力主管部課	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	文化観光局交流推進課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7079
島根県	環境生活部文化国際課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6462
岡山県	企画振興部国際課	700-8570	岡山市内山下2-4-6	086-226-7284
広島県	総務部秘書広報局国際室	730-8511	広島市中区基町10-52	082-228-3046
山口県	地域振興部国際課	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2340
広島市	企画総務局国際平和推進部	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2106

（2）主な協力団体

県・市名	団体名	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	財団法人 鳥取県国際交流財団	680-0947	鳥取市湖山町西4-110-5鳥取空港国際会館1階	0857-31-5951
島根県	財団法人 しまね国際センター	690-0826	松江市学園南1-2-1くにびきメッセ2階	0852-31-5056
岡山県	財団法人 岡山県国際交流協会	700-0026	岡山市奉還町2-2-1岡山国際交流センター内	086-256-2917
広島県	財団法人 ひろしま国際センター	730-0037	広島市中区中町8-18クリスタルプラザ6階	082-541-3777
山口県	財団法人 山口県国際交流協会	753-0811	山口市吉敷3185-1	083-925-7353
広島市	財団法人 広島平和文化センター	730-0811	広島市中区中島町1-5広島国際会議場内	082-242-8879

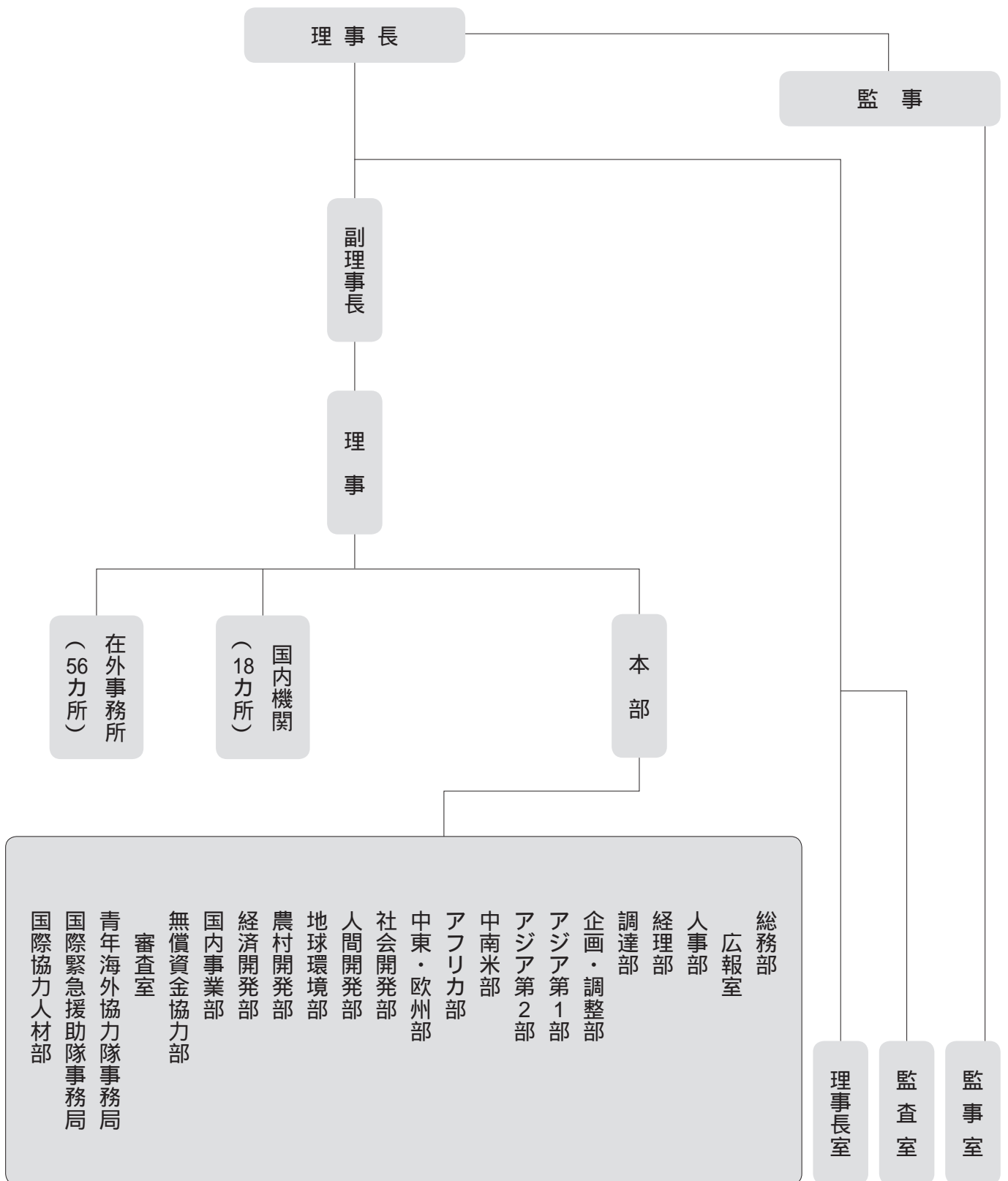
（3）青年海外協力隊OB会・育てる会

団体名	代表者名・役職	
青年海外協力隊鳥取県OV会	谷 田 孝 之	会 長
島根県青年海外協力隊協会	寺 本 裕 二	会 長
青年海外協力隊岡山県OV会	万 代 ユ ミ	会 長
青年海外協力隊広島県OB会	岡 平 考 司	会 長
青年海外協力隊山口県OB会	三 村 和 義	会 長
広島県青年海外協力隊を育てる会	宮 田 文 雄	監 事
山口県協力隊を育てる会	岩 本 功	会 長

（4）JICA専門家連絡会

団体名	代表者名・役職	
鳥取県JICA派遣専門家連絡会	藤山 英保（鳥取大学農学部教授）	会 長
島根県JICA派遣専門家連絡会	増永 <small>つぎゆき</small> 二之（島根大学准教授）	事務局長(会長代行)
岡山県JICA派遣専門家連絡会	山北 勝寛（吉備国際大学教授）	幹事(会長代行)
広島県JICA派遣専門家連絡会	阪田 泰和（広島大学医学部留学生相談室）	臨時会長
山口県JICA派遣専門家連絡会	西山 壯一（山口大学農学部教授）	会 長

国際協力機構の組織図（平成19年4月1日現在）



JICA中国の沿革

1．事業の沿革

昭和29年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、昭和39年7月に設置された国際協力事業団（JICA：Japan International Cooperation Agency）の前身である海外移住事業団広島県事務所が各県海外協会から継承しました。昭和40年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された昭和49年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、昭和56年から実施しています。

2．組織の変遷

< 海外協会 >

昭和29年1月 財団法人日本海外協会連合会が東京に設立される。

昭和29年3月 広島県及び鳥取県に海外協会が設立される。

昭和29年4月 岡山県に海外協会が設立される。

昭和29年10月 山口県に海外協会が設立される。

昭和29年11月 島根県に海外協会が設立される。

< 海外移住事業団 >

昭和38年7月 海外移住事業団設立。財団法人日本海外協力連合会及び日本海外移住振興株式会社の業務を継承。

昭和39年7月 海外移住事業団地方事務局が各都道府県に設置され、地方海外協会の業務を継承。

昭和48年10月 各都道府県事務所が12ブロックに統合され、中国地方では、広島県、山口県及び島根県は広島支部、岡山県及び鳥取県は兵庫県と共に神戸支部が管轄。山口県には更に駐在員事務所を配置。

< 国際協力事業団 >

昭和49年8月 国際協力事業団設立。海外技術協力事業団、海外移住事業団、財団法人海外農業開発財団の業務の全てと、財団法人海外貿易開発協会の業務の一部を継承。海外移住事業団広島支部は、国際協力事業団広島支部となる。

昭和53年9月 山口駐在員事務所が廃止。

昭和54年7月 国際協力事業団広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、中国5県を管轄することとなる。

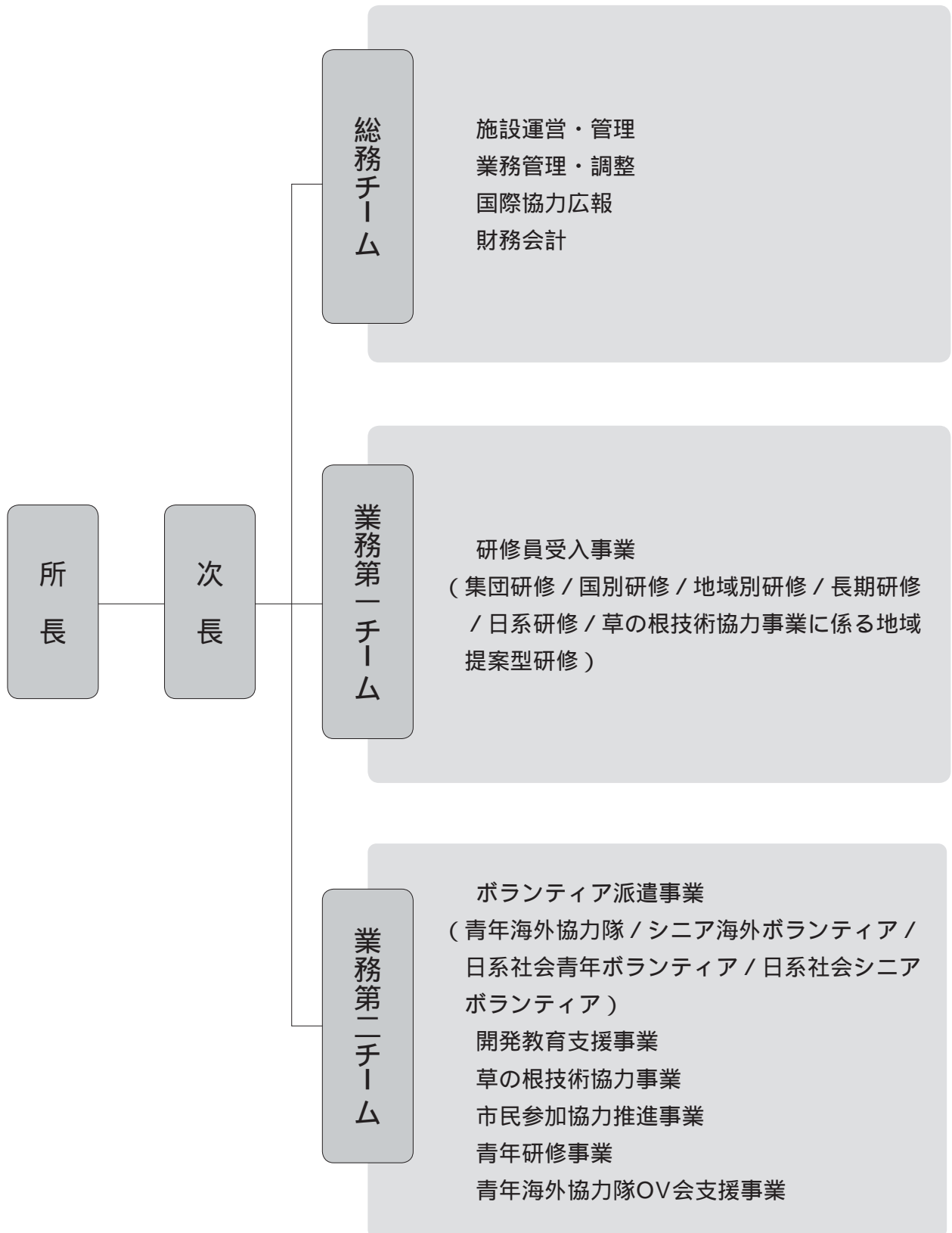
昭和55年4月 広島支部の名称が中国支部に変更される。

平成8年10月 中国支部が廃止され、中国国際センターが設立される。

平成9年2月 平成9年1月東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICAと広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。中国国際センターも、その施設内に移転。

平成15年10月 国際協力事業団は、独立行政法人化して「独立行政法人国際協力機構」（英文名称は「JICA」のまま）となる。

JICA中国の組織図・業務内容（平成19年4月1日現在）





**独立行政法人 国際協力機構
中国国際センターへの交通アクセス**

- JR西条駅から
 - ・JRバス 黒瀬・広・呉方面行(7番のりば) 水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・JRバス サイエンスパーク行(7番のりば) フォード前下車 徒歩5分
 - ・タクシー 15分
 - ・シャトルバス 西条駅前(6番のりば) 15分
- JR東広島駅から
 - ・タクシー 10分
- 広島空港から
 - ・バス(呉市交通局)呉駅行 水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・タクシー 30分
- 山陽自動車道 西条ICから
 - ・自動車 国道375号線を呉方面へ 15分

■シャトルバス運行表

【JR西条駅→ひろしま国際プラザ】

JR西条駅	ひろしま国際プラザ	(リハビリテーションセンター)	備考
8:58 →	9:13		土日祝運休
10:00 →	10:16	(10:25)	※
10:50 →	11:06	(11:15)	※
13:35 →	13:51	(14:00)	※
18:00 →	18:19		土日祝運休
18:00 →	18:15		土日祝のみ運行
18:55 →	19:10		土日祝運休
19:30 →	19:45		土日祝のみ運行

【ひろしま国際プラザ→JR西条駅】

(リハビリテーションセンター)	ひろしま国際プラザ	JR西条駅	備考
	8:35 →	8:50	土日祝運休
(9:35) →	9:44	9:58	※
(13:00) →	13:09	13:25	※
(16:10) →	16:20	16:35	※
	17:40 →	17:55	土日祝のみ運行
	17:45 →	18:00	土日祝運休
	18:40 →	18:55	土日祝運休
	19:10 →	19:25	土日祝のみ運行

*印のバスはリハビリテーションセンターが運賃しているバスです。
乗車・降車の利用については、リハビリテーションセンター利用者が優先となります。



**独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター**

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1ひろしま国際プラザ内
TEL(082)421-6300 FAX(082)420-8082
<http://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>